



八代中学



八代高女



新校舎になって最初の卒業生(1966年)、
第18回生の卒業アルバムからの写真です。
校舎手前に自転車小屋があり、田んぼがありました。



ほぼ同じ位置から撮影した現在の校舎。正門はこちら側に移動

- ② 校舎今昔
- ③ 同窓会長・校長挨拶
- ④ 平成26年度 大同窓会報告
- ⑥ 各支部・地区同窓会紹介
- 12 学年同窓会だより
- 16 座談会「部活動」
- 22 八高史
- 23 頑張ってます
- 24 八代だより
- 26 母校だより
- 28 次回総会案内

い大物だけ保護者の協力車輌に頼ることになった。

移転という大作業であるけれども、学習に支障を来さないこと。授業は一切切らさない。夏休みの課外授業も例年よりも多くなうとも少なくなったり、支障を来さないということであつた。この基本線に沿つて移転作業計画を立案した。

松江城町から永碇町へ
昭和四十年の大移動



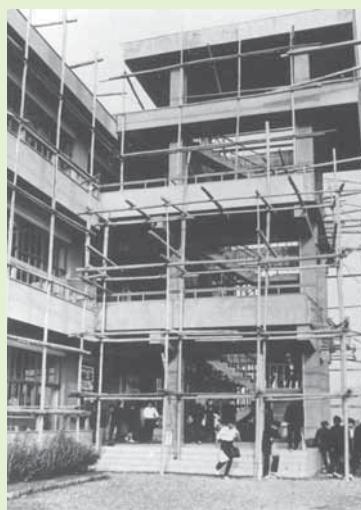
旧校舎からの移転

三十七年度より始まつた学級増に伴い、特別教室はどんどん普通教室へ転用されていつたが三十八年で限界、三十九年度が講堂を仕切り普通教室へ。職員室も全くのすし詰め状態。

第一期工事の校舎東半分が進んでいたので、四月より県の許可を得て、一年だけ新校舎での授業となつた。

「移転を機に八高は飛躍するんだ」という空気が、職員・生徒の中に醸成され、炎のように燃え上がつていった。学校としては、学習面で非常な苦境にあつたが、それを突き抜いていく勢いがあつた。

昭和38年 建設中の新校舎



昭和40年の卒業アルバムより

第二期の工事も進んで、四十一年度、夏休み中に全面移転を完了し、九月一日より全学年揃つて新校舎で落ち着いた授業をする線で、準備がなされていつた。移転の費用は県費からは出ず、金を使わない移転を計画。職員・生徒の身体を使っての運搬であった。どうしても運べない

と行われ、心配された事故も皆無。誰一人文句を言つゞじろか、積極的に動いたし、疲労の色も出さなかつた。移転により、より飛躍した八高を作り上げようという学校の雰囲気がそつさせたものと思う。又、七十年間先輩を育てて來た旧校舎を、感謝の念を込めてあれ程淨め上げて



旧校舎の写真 上下とも昭和40年の卒業アルバムより

新校舎になった当時の各施設配置がわかる空撮写真（昭和63年撮影）



昭和40年9月11日
旧校舎(現市役所敷地内)から新校舎への移動行進



運動会後に行われたファイヤーストーム（昭和50年の写真）

現在は無くなった屋上への階段
昭和60年に完成したセミナーハウス「鳳雛館」

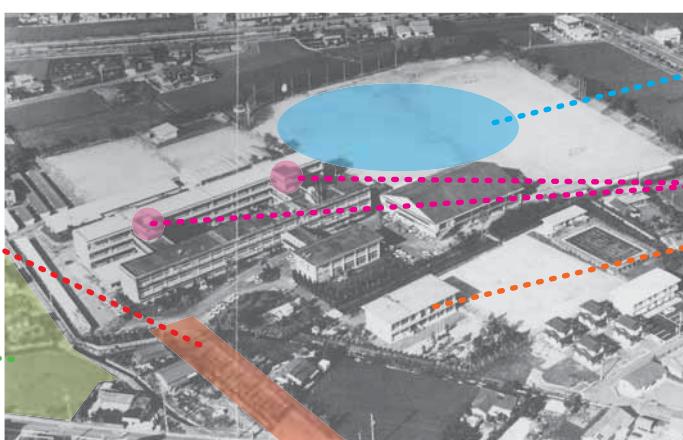
※現在では、表紙のように正門の位置も変わり、施設も増え、この写真とは違っていますが、出来た当時がよくわかる写真です。

年記念誌》より
移転当時の職員、安本源次郎教諭（三七～五五年在職）の回想
からの抜粋《白鷺 創立八十年記念誌》



最初の正門の場所。
現在駐車場になっています。
(昭和47年の写真)

表紙の田んぼ
(昭和40年の写真)



同窓会名簿の整備にご協力下さい



長元紀
会岡山

平成26年度の八代中学・八代高女・八代高校同窓会は8月23日、八代ホワイトパレスで開催されました。

今年の担当幹事は昭和55年卒業、高校32回卒の皆さんでした。旧制八代中学校、旧制八代高等女学校、又は、八代高校を卒業されました。



学校長
唐津和雄

同窓生の皆様には、本校の教育活動の更なる充実のために、日頃から多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私はこの3年間で、大同窓会をはじめ各地の同窓会に数多く出席させていただきました。そ

の都度参加者の多さに驚き、そして在学中の想い出や後輩への期待を伺うことができました。在学中に友人や恩師等との密度の濃い時期を過ごされたからこそと察するところです。このような深い愛校心を今の生徒たちも是非抱いて欲しいものです。そのために、有意義な学校生活を送らせるとともに、折に触れる先輩方の思いを伝えたり、本校の伝統などを話したりしていま

(1906)年、そのとき「櫻牛全集」を購入したという記述があります。そのときのものと思われます。図書館報で生徒たちに紹介しました。八代高校が中学校を併設して6年目、中学1期生は高校3年生となり中高一貫教育校としての完成です。八高生のうち3人に1人は併設中学出身です。大きな行事はほとんど合同で行います。入学式、鳳雛祭(体育祭と文化祭)、長距離走大会、始業式、終業式など中高合同開催です。卒業式は別日になりますが、高校の卒業式には中1から

か、6月に関西同窓会と岡山県同窓会が開催され、7月に福岡支部同窓会、8月に広島県同窓会、9月に関東地区同窓会、そして、10月に熊本市支部同窓会と山口県同窓会が開催されました。

これら遠方の同窓生も参加できるような新たな地区同窓会が結成されていくことを願つておません。

高2まで、すべての在校生が参加します。もちろん綱領と校歌も中高同じものです。心は誠実にして、自律の精神に富み、その行動は闊達である、という文武両道によつて培われてきた八高生の霸氣ある気風を色濃く継承していくように、すべての教職員で指導に取り組んでいます。

120周年記念式典を平成28年秋に挙行すべく、その計画の途に就きました。最後になりましたが、皆様の益々の御健勝を祈念申し上げます。



情報保護法（個人情報の保護に関する法律）平成15年5月30日法律第57号に認められている同窓会名簿の整備を図り、出来るだけ多くの同窓生に同窓会報をお届けしていきたいと考えています。

ります。

同窓会報『道』は第6号の発行となりました。

この同窓会報は年会費を納め生として、相互に友誼を深くして教養を高め合おうという本校同窓会の目的からみれば、遠方に住んでいるため、八代での全体同窓会はもとより各地区的同窓会にも参加できない同窓生が多数おられることが残念になります。

しかしながら、同窓会報の受け取りを拒否される同窓生、住所変更の連絡がなく住所が確所の開示を拒否される同窓生、認できない同窓生が合わせて五千名を超えております。

それが八代高校同窓生の結びつきを強くする」とになると考えます。

それ理由があると思いますが、八代高校同窓会では個人

平成26年度

八代中学・八代高女・八代高校 同窓会総会



岡山会長挨拶

平成26年度八代高校同窓会が、「絆——繋げよう、想いは時空(とき)を超えてー」をテーマに、8月23日八代ホワイトパレスに於いて開催されました。心配されていた天候にも恵まれ、全国の同窓会支部からも参加いただき、550名余りの同窓生が出席し、盛大に開催されました。清楚にして爽やかな同窓会となりました。

地区同窓会長、宮崎正郎関西同

窓会会长、吉田高範岡山同窓会事務局長、谷崎續広島県同窓会会長、山下鐵洋山口県同窓会会長、佐藤好助福岡支部同窓会会長、益田敬二郎熊本市支部同窓会長に賜りました。来賓紹介の

うち岡山会長を議長として議事の進行しました。

役員体制では、新たに理事に

荒木哲夫(高3回卒)、福岡信夫(高10回卒)、監査委員に守屋みつえ(高20回卒)の3名の方々を承認しました。その後、

行事報告、会計決算報告、監査報告、今年度行事予定、予算案承認されました。同窓会報、年会費納入については、イン



来賓の皆さま

ターネットで情報を発信している地区では年会費の納付率が上昇しているとお話しがありました。渕田義昭理事による花馬奉納会報告のうち、萱嶋義邦副会長による閉会で総会を終えました。

「まちとアート」いろはの奇跡では仙台のさびれたシャツ街を観光スポットにかるためアートエリアにできないかと考え、空き店舗をアートギャラリーにして地図を見ながら巡回するという企画を立案しました。するとそのギャラリーをそのまま契約し雑貨屋やオーガニック、飲食店として営業し今ではお洒落な隠れスポットとして知られるようになりました。街がよみがえるという結果になりました。

桜3・11プロジェクトでは、ここまで津波が到達したかを桜の植樹により示す活動です。学校行事に組み込み植樹をしていきます。最後は桜プロジェクトの七ヶ浜でのビデオを鑑賞して終わりました。



講演会 村上准教授

トイクリーション、アートで包み込む)において、震災後は、震災の被害者を対象に広げ仮設住宅でイベントを開催。

講演会

総会ののち午後3時30分より美術家であり宮城教育大学准教授でもある村上タカシ氏(高32回卒)を迎えて、「震災とアート」を演題に講演

平成26年度八代高校同窓会が、「絆——繋げよう、想いは時空(とき)を超えてー」をテーマに、8月23日八代ホワイトパレスに於いて開催されました。心配されていた天候にも恵まれ、全国の同窓会支部からも参加いただき、550名余りの同窓生が出席し、盛大に開催されました。清楚にして爽やかな同窓会となりました。自身の活動

岡山会長挨拶

いたきました。ご自身の活動の紹介と、震災復興に対してもどのように関わってこられたかについてお話しがありました。

「まちとアート」いろはの奇跡では仙台のさびれたシャツ街を観光スポットにかるためアートエリアにできないかと考え、空き店舗をアートギャラリーにして地図を見ながら巡回するという企画を立案しました。するとそのギャラリーをそのまま契約し雑貨屋やオーガニック、飲食店として営業し今ではお洒落な隠れスポットとして知られるようになり、街がよみがえるという結果になりました。

桜3・11プロジェクトでは、ここまで津波が到達したかを桜の植樹により示す活動です。学校行事に組み込み植樹をしていきます。最後は桜プロジェクトの七ヶ浜でのビデオを鑑賞して終わりました。

トイクリーション、アートで包み込む)において、震災後は、震災の被害者を対象に広げ仮設住宅でイベントを開催。

トイクリーション、アートで包み込む)において、震災後は、震災の被害者を対象に広げ仮設住宅でイベントを開催。

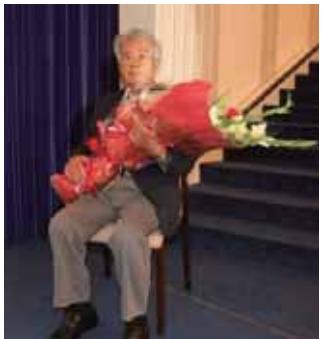
懇親会



闇 優子さんによる歌



最高年齢者 守田 満さん
原田 玲子さん



最高年齢者 本村 穆さん



八代高等女学校 校歌



八代中学校 校歌



万歳三唱



33回生へ法被引継ぎ



会場全体で八代高等学校 校歌斉唱（上下共）



左
八代高校歌の
ピアノ伴奏
堤佳寿子さん



幹事学年 学年同窓会



幹事学年 高校32回生

が、多くの同級生の協力により、
無事大同窓会を終えることができ
ました。大役を終えた充実感
と程良い疲れと、懐かしい面々
と尽きない昔話で楽しい時間は
あつという間に過ぎて行きました。
忙しい中、遠方から駆け
つけてくれた仲間もいて、本当に
感謝でした。2020年1月
の還暦同窓会での再会を約束
し、最後は有田信也くんによ
る妙見縞
めで終わ
りました。

二次会、
三次会も
大きいに盛
り上がり
ました。

今年の最高年齢者の表彰では男
性は本村 穆さん（高32回卒）、
女性は2名、守田 満さん（高
36回卒）と原田 玲子さん（高
36回卒）へ出席者一同より花
束を贈呈いたしました。徳永三
幸（高4回卒）前会長による乾
杯の音頭で懇談へ入りました。

宴もたけなわ、同窓生の皆さ
まに黙祷を捧
げました。オーピ
ニングは闇優
子さん（高32回

に先立ち広島市
北部土砂災害の
犠牲となられた
方々に黙祷を捧
げました。オーピ
ニングは闇優
子さん（高32回

女36回卒）と原田 玲子さん（高
36回卒）へ出席者一同より花
束を贈呈いたしました。徳永三
幸（高4回卒）前会長による乾
杯の音頭で懇談へ入りました。

宴もたけなわ、同窓生の皆さ
まに黙祷を捧
げました。オーピ
ニングは闇優
子さん（高32回

と歌い上げられました。次にH
K東日本大震災復興支援ソング
「花は咲く」を闇優子さん
（高32回卒）の指揮のもと、堤
佳寿子さん（高32回卒）のピア
ノ伴奏により会場全体で合唱し
ました。

続いて来年の幹事学年である
高校33回生へ法被の引継ぎを
し、代表して福岡壮一さんの決
意表明と続き、八代高校校歌を
会場全体で斉唱しました。最後
の締めは、毎年恒例の最年少参

加者によって行われ、今年は福

校55回生で映画監督をされてい
る遠山昇司さんによる万歳三唱
でお開きとなりました。

加者によって行われ、今年は福
校55回生で映画監督をされてい
る遠山昇司さんによる万歳三唱
でお開きとなりました。

ご参加いただ
いた同窓生の皆
さまのお見送り
を終え、幹事学
年の同窓会を開
催しました。最
初は不安だらけ

の出発でした
が、多くの同級生の協力により、
無事大同窓会を終えることができ
ました。大役を終えた充実感
と程良い疲れと、懐かしい面々
と尽きない昔話で楽しい時間は
あつという間に過ぎて行きました。
忙しい中、遠方から駆け
つけてくれた仲間もいて、本当に
感謝でした。2020年1月
の還暦同窓会での再会を約束
し、最後は有田信也くんによ
る妙見縞
めで終わ
りました。

各支部・地区同窓会からの「お便り」を紹介します。

関東地区同窓会

私たち関東地区同窓会は、関東一都六県との近県の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。

会員はおよそ2千4百名で、高1回卒の守屋会長、高1回卒の中村事務局長を中心とし、学年幹事会を開催して運営しております。

活動は『総会・祝宴』『クラブ活動』等を行っており、公式の連絡や住所変更届はホームページ、日々の話題はfacebookを使用して連絡と交流の充実を図っています。

総会・祝宴

今年はの月13日(土)に新宿の京王プラザホテルにて、224名の皆様にご参加をいただき盛大に開催いたしました。

●第一部は総会で、関東地区同窓会の守屋会長、八代の同窓会の岡山会長、八代高校の土田副校長による挨拶をいただき、会計報告・承認などを行いました。



●第二部の祝宴は乾杯をして、大勢の方々に檀上におあがれいただき、またまた大いに盛り上がりました。

最後は、万歳三唱で締め切りました。



そして最後にくまモンの登場～くまモン体操などで大盛り上がりでした。会場の皆さんがあれこれに写真や動画をfacebookなどにアップされたので、それを見た方が、「回窓会にくまモンが来たの?!」といふやもひがられて、鼻高々で

す。
V(ーー)

映画監督の遠山昇司さん(高55回卒)、マジック・コートDJ

制作中)、俳優の米村亮太郎さん(高48回卒)、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」九条兼泰役)、NHKお天気キャスターの平井

信行さん(高38回卒)などの方々の参加をいただき、檀上で挨拶やフロアでの歓談に加わっていました。

アトランションは、本郷孝之さん(高34回卒、声楽家)、姉弟の三一・リサイタルでした。

歓談と記念撮影のあと、校歌齊唱は、川原洋一郎さん(高20回卒)、劇団四季ういのんキングのブンバア役など)をはじめ、大勢の方々に檀上におあがれいただき、またまた大いに盛り上がりました。

最後は、万歳三唱で締め切りました。



●ゴルフ俱楽部:「同窓会ゴルフコンペ」は、5月にOB全体の定例会、10~11月に任意のグループで開催し、毎回10~20名ほどの皆さんが参加されています。いつも好天に恵まれ和気あいあいゴルフを楽しんでいます。

俱楽部活動

●居酒屋探検隊:『高い換えれば勝手に企画する個別の飲み会なのです。facebookのグループページで呼びかけて、神出鬼没で行っています。この時とばかりにやつちの弁でワイワイがります。
V(ーー)今年は演劇鑑賞やス

当番幹事の山内さん、田尾さんを中心とした高40回卒の皆さん、元気な様でした。

通信・連絡

関東地区同窓会のホームページ「八高関東どっと窓の」は、総会の案内、写真のダウンロード、各種報告事項などを掲載しております。

<http://www.85kantou.com>にアクセスし、もちろん載りました。また、住所変更届けもホームページで出来ますので、関東地区での移動、転入、転出などの場合に、ぜひ利用ください。

「八代高校関東地区同窓会」の名称でfacebook pageを作成しており、同窓会関係の連絡や報告などを実行しています。また、グループページでは同窓生の近況などを書き込んで楽しんでいます。ぜひのぞいてみてください。

なお、活動は関東地区以外の方でも、参加いただけます。ぜひ希望がござらましたfacebookの募集記事への書き込み、または関東地区的学年幹事に連絡ください。

(高29回卒 立原誠治)

私たちの関西同窓会

第23回総会・懇親会（平成26年6月7日）

長寿・中学卒、傘寿・高6回生、喜寿・高9回生、古希・高16回生を祝う!!

平成26年6月9日 熊本日日新聞 朝刊

△八代高校関西同窓会総会 7日、大阪市内に約120人が出席してあつた。宮崎正郎会長が「来年は会創設30周年を迎える。会員拡大に努めたい」とあいさつ。来賓の唐津和雄校長は「中高一貫となり6年目を迎えた。再来年の創立120周年を盛大に祝いたい」と現況報告した。O.Bで気象キャスターの平井信行さんが「天気予報の舞台裏」をテーマに講演したほか、懇親会で県事務所の馬淵宗徳さんが県産材を使つたギターでくまモンのヒット曲などを奏でた。

県人だより



「道」響きわたる



岡田 公孝（高38回卒）
八高を卒業して早30年近くになります。今

回の総会では、私たち38回生の中でも今や全国区で活躍中のNHKお天気キヤスター、平井信行君を講師として招きました。気象のことから放送の裏話まで、普段テレビで見る平井君とは一味違う一面を覗かせていただいた講演で大いに盛り上りました。

思えば平井君は小学生時代から陸上長距離が強く、別の小学校に通っていた私がからみると小・中学校の時、自分が通う学校の友を平井君よりなんとか先にゴールを切らせたいと、声を枯らして応援していた事を懐かしく思い出す、そんな場でもありました。八高時代は私が野球部、平井君が陸上部で、サッカーチームやラグビー部と共に、あの懐かしいグランドで汗を流した青春の日々が時の流れを超えて昨日のことのように思い出されます。そんな郷愁を憶えた八高関西同窓会に感謝感涙、これから的发展を祈念いたしました。



第14回「大和路ハイク」

やっぱりすごい！八高同窓会！
新村 守（高49回卒）

この度、初めて八高関西同窓会に参加させて頂きました。講演では、NHKの天気予報などでも有名な平井信行先輩によるお天気に関する大変おもしろいお話を（朝、虹が出たら雨などをお聞きすることができます）。また、これまで、関西では八高同窓生の方と面識を得ることがなかつたのですが、宮崎会長をはじめ、多くの先輩・同窓生の皆さんと名刺交換をさせて頂き、諸先輩方が関西でも多大な活躍をされていることを知ることができ、とても心強く感じました。

26回生学年幹事 喜多 公子
第6代会長に9月12日就任。

ただ、私の世代を含め、「若い世代の出席がなかなか少ないな」とも思いました。今後は、微力ながら私も積極的に関わらせて頂き、若い世代の参加も増やしていきたいと思います。

来年は結成30周年！！

宮崎正郎会長が「関西熊本県人会」第6代会長に9月12日就任。



第36回「八高会コンペ」

お知らせ

「大和路ハイク」「八高会コンペ」とも春・秋開催です。
お問い合わせは、FAX075-494-3715まで

事務局長 木畠公一郎

福岡支部だより



花束を贈る八高福岡同窓会の佐藤好助会長

△まずは、野球殿堂入りおめで
じいざります――

↓毎年、記者投票で選ばれる
のですが、毎年名前は上がつ
ていたのですが、確かに昨年は
あと1票でした。今年は選ん
でいただきました。

△現役時代から「最もメジャー
に近い選手」と言われてました
――

↓西武時代にアメリカへ教育
リーグに2年間、一度行かせ
ていただきました。こうした
経験ができたことはとても
ラッキーでした。英語は2年
間もいたのにダメでしたね
(笑)。メジャーには憧れまし
たし、できるなら行きたかっ
たですが、当時は今のように
メジャーへ行く制度というか
システムが無かつた。野茂選
手あたりからでしょう。タ
イミングもありますが、こつ
ち(日本に)にいたから今の
自分があるかもしません。

福岡同窓会では、ソフトバ
ンクホークス秋山幸二監督
(三三回卒)の2014年度
野球殿堂博物館ブレーバー表
彰(野球殿堂入り)の輝かし
い偉業を称えるべく、オープ
ン戦最中のヤフオクドームに
秋山監督を訪ねました。

「メジャーに最も近い男」
と呼ばれ、現役通算2157
安打、437本塁打、303
盗塁ゴールデングラブ賞11回
の最強のオールラウンドプレ
ーヤー。野球殿堂入りの感
想や野球に賭ける思い、八高
時代の思い出などをお聞きし
ました。

△現役時代の日本シリーズ、あ
の「バック田」は印象的でし
た――

△高校時代、「あと一歩で甲子
園」でしたね――

↓身体が大きいので「お前、
投手やれ」と言われました。
今は、投球制限などあります
が、私は投げた方が良いと思
います。やはり強い身体を練
習で作ることが、先々では大
事なんじゃないかと思いま
す。甲子園ですか?もし行つ
てたら、変わった人生になつ
たかもしれませんね。



インタビュー後記

△高校時代、「あと一歩で甲子
園」でしたね――

第25回 福岡支部総会が 7月に開催されました。

八代高校福岡支部同窓会の当番幹事が10年ぶりに廻ってきました。当時50才だった我々47年卒も、昨年還暦を迎えるました。

あの時、参加されていた昭和20年代卒の大先輩達も、元気で今年も座っておられ、我々の両親と年代はそう変わらないと思いますが、とにかく若い。出された中華料理をパクパク、良き同窓の仲間との会話に花が咲き、時を惜しむかのように再会を楽しんでおられました。幹事をやって嬉しくもあり、ほっとした場面になりました。来年もお互いに元気でお会いしたいものです。

当番幹事
47年卒
小田勝己

「博多まち歩き」山笠コース 参加報告(2014)

47年卒 永田成樹

7月5日、福岡支部同窓会総会に先立ち、「博多まち歩き」が開催されました。当日は梅雨の晴れ間の過ごしやすい天候の中、17名の同窓生が参加されました。参加者は3班に分かれ、それぞれにボランティアガイドさんに案内していただきました。

まずは櫛田神社に参拝し、曳山が約30秒で駆け抜ける清道(境内)やそれを囲む桟敷席、常設の飾り山笠などを見物しました。その後、川端商店街から博多リバーライン、呉服町を経由し東長寺までの全行程約1.5km、1時間程度のまち歩きでした。

博多の夏祭り山笠で賑わう街中を、ガイド行弘さんの軽妙な説明を楽しみながら、各町の絢爛豪華な飾り山笠をじっくり見学し、普段とは違う博多の町を体験することができました。ガイドの皆さん、本当にありがとうございました。

●福岡支部の最新情報は「八代高校同窓会福岡支部」のホームページをご覧ください。
<http://glico1001.blog.fc2.com/>

八代高校同窓会福岡支部 検索

八代高校同窓会

熊本市支部だより

熊本市支部の役員は、会長、益田敬二郎（高15回卒）、副会長、村山光範（高16回卒）、大道龍生（高16回卒）、秋築多恵子（高23回卒）です。また、事務局は昨年より、私が坂田雅孝（高24回卒）が担当することになりました。

何分不慣れではござりますが、本部、各支部と連携をとりながら頑張ります。よろしくお願いします。

熊本市支部は、2年に一度の17回同窓会を、10月25日（土）午後6時30分からANAクラウンプラザホテル熊本二コース全力以行いました。

今回の幹事担当は、高23、24回卒業の皆さんで、代表幹事は濱田由喜さん（高23回卒）でした。幹事の方々は、同窓会前1ヶ月は、毎日のように私の会社に集まり、準備に、忙しい毎日を送っていました。広告は、10月11日㈯の夕刊に掲載しました。多くの方々にご協力いただきました。今年は、熊田新聞のタウンパークに有難うございました。また、今年は、熊田新聞のタウンパークに有難うございました。

ケツトに10日間掲載したところ、たくさんの方々がご覧になりました、出席の返事いただきました。同窓会は私と昭和61年第38回卒の上村葉子さんで進行しました。若い人と同窓会をやることで、若い人の気持ちになればいいなと考えたからです。350名の方々に、参加していただき久しぶりの再会を喜んでいただき、楽しい同窓会になりました。当番幹事会を行つて開き、企画を行つた結果だと思います。

学年幹事会も、昨年12月7日、今年7月25日に行つて、参加者名簿をお願いしました。多くの方々に声をかけていただき、ありがとうございました。楽しいアトラクションもありました。今年は、Facebookで、熊本市支部同窓会を応援する会の投稿など、反響がありました。

ただ、悩みもあります。若い卒業回数の人の参加者が少ないことです。時代も昭和から平成へ、アナログからデジタルへと変わりました。これらの同窓会は、その時代の移り変わりのパイプ役になり、同窓会に参加してよかったです、八代高校を卒業

しましたが、高校時代のことを良き時代として語れる同窓会にしたいと考えています。たくさんの方々に参加していただき有難うございました。

坂田雅孝（高24回卒）



東海地区にも八高同窓会を

多くの方から要望がありました、東海地区八高同窓会の設立に向けての準備がスタートします。

10月12日㈯名古屋駅前の会場へ県内卒業生14名と県外の卒業生4名が集い、準備会を開催いたしました。

今後、東海4県の皆様にもお集まりいただけるよう、同窓会の設立に向けて準備委員8名を選出し、具体的準備を進めます。

また、三重県、岐阜県、静岡県の皆様と共に、この東海地区的八高同窓会を盛り上げていきたいと願っておりますので、設立の準備にご協力いただける方は左記へご一報ください。

準備会の内容は、本部同窓会のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

●準備委員●
代表 久保勝司（高10回卒）
●連絡先●
坂田孝之（高18回卒）
●電話●
0587-54-3206
●メール●
kounan.sakata@gmail.com

愛知地区同窓会

一四四八高会



今年は9月28日㈰に実施することになりました。なので、残念ながら皆様の状況を報告することが出来ません。今年の幹事は岡崎市在住の2人ですが、いつもゴルフを一緒に楽しんでいますので、思もピッタリなのです。

初めての試みで、船で島へ渡つて集うことになりました。新鮮な海の幸がたっぷり味わえること、期待大です。そして今回、新しい仲間が加わります。歳の近い後輩と少し離れた先輩です。お会い出来るのを楽しみにしています。

私達の仲間は、愛知県の各地と静岡県から集まっています。写真の代わりに地図を書いてみました。

岡田多美子（高21回卒）

6月8日、支部発足以来、5回目（昭和54年以来9回目）の支部同窓会を開催しました。

6月8日、支部発足以来、5回目（昭和54年以来9回目）の支部同窓会を開催しました。

岡山地区同窓会

一第5回総会・懇親会



一新年会とカヌー駅伝

今年の新年会では、横須賀に

お住まいの本田大三郎氏（高5回卒）に出席いただき、「日本人のオリンピックへの出場や」「予想外の多賀氏の三回のオリンピック出場」お祝いの孫にあたる△△△△の本田圭祐選手の「」

じなど、普段では耳にすること

ができる貴重なお話をたくさんお聞き出来ました。

氏は、現在も横須賀で「マホロバ・ホンダカヌースクール」



を主宰され、後進の指導をされたり、全国を廻つてカヌーの普及に尽力をされております。

桜咲く3月には、本田先輩の提唱により、岡山の旭川流域で「岡山城・後楽園カヌー駅伝」が開催され、有志で同窓会の法被を身にまとひ、お手伝いに行つてきました。

山口地区同窓会

一山口県同窓会

平成25年11月20日山口県同窓会の第3回総会・懇親会を、山口市で開催しました。同窓会本部から岡山会長、本村事務局長にお出でいただき、また、広島と岡山から谷崎續氏、村田栄治氏、吉田高範氏にご出席いただきました。

江島幹雄氏（高20回卒）が音楽監督を務める倉敷アカデミィアンサンブルやアンサンブル早島の演奏会を有志で鑑賞に行っておつます。

一コンサート鑑賞



女性一人が手に持つているのは、森中登美子さん（高17回卒）書による「八代高校歌」です。



続く懇親会では、乾いた喉を潤し、高級ホテルの美味しい料理を頂いた後、ゲストのプロの歌手の歌について、カラオケで自慢の喉を披露する人もいて大変盛り上がりました。

山口県同窓会では、毎年秋に総会を開く予定ですが、他県からの参加も大歓迎です。一緒に母校の思い出を語つてみませんか。

重田千恵子（高18回卒）

大分地区同窓会

八高同窓会大分支部の現状

5年前の春、松本宏次という

見知らぬ男性から分厚い封書が届きました。

何事か？と思つてあけてみるとそれは大分県在住の八代高校出身者を全部調べた名簿でした。

そして「同窓会を作りませんか」という呼びかけでした。

10年ばかり前には「親睦会」みたいな集まりが時々あつっていましたが主な先輩達がいなくなつていつの間にか途だえていたわけです。

平成25年から砥上会長の体調不良のため田河清一氏が会長と

平成25年から同窓会を立ち上げる事にあげて同窓会を立ち上げる事になりました。まず会長に砥上正利氏（高10回卒）、事務局長に松本宏次氏（高15回卒）となりました。私は最年長（高3回卒）といつことで顧問になりました。

そして平成21年7月、「新生同窓会」を「杉の井ホテル」で開催する事になりましたといふ高3卒から高5回卒の男女25名が集まり設立総会を開くことができました。総会後、美味しい料理をいただき乍ら八代辨の自己紹介のちゲームありオシャベリありで賑やかな会になりました。

平成22年7月も杉の井ホテルで開き、杉の井ホテル自慢の「露天湯」の入場券をいただいてそれぞれに入浴して満足でした。その後、平成23年7月からは24年12月、25年9月と花菱ホテルで開催しています。花菱ホテルは瀬戸内海を正面に見すえて眺め抜群の会場です。その会場も気分の良いもので気に入っています。

10年ばかり前には「親睦会」みたいな集まりが時々あつていましたが主な先輩達がいなくなつていつの間にか途だえていたわけです。

平成25年から同窓会を立ち上げる事にあげて同窓会を立ち上げる事になりました。まず会長に砥上正利氏（高10回卒）、事務局長に松本宏次氏（高15回卒）となりました。私は最年長（高3回卒）といつことで顧問になりました。

再生して5年のピラミッド同窓会ですが、これからどんどん発展させ母校八代高校と連携を深めていきたいと思つています。

前回（高3回卒）前号の大分地区同窓会の文中、前岡様のお名前が前村になつております。お詫びして、訂正いたします。

廣島地区同窓会では、三輪（旧姓下津）真理さんによる歌と演奏があり、特に「故郷（ふるさと）」というオリジナル曲には、出席された方々が皆感慨深そうに聞きました。

広島市内は、8月20日に、これまでに経験したことのないような集中豪雨により安佐北区及び安佐南区において、70人を超える死者・行方不明者を数える大災害が発生しました。

8月23日に開催された八代高校同窓会では、この災害に対する哀悼の意を表していただき、義捐金も集めていただ

くなど、早速支援の輪を広げてくださいましたことについて、心から感謝申し上げます。

そして、平成24年9月1日には発足した八代高校広島県同窓会の一周年記念総会・懇親会を、去る8月30日に開催しました。

八代高校同窓会の岡山会長にご臨席いたくとともに、山口展さセ母校八代高校と連携を深めていきたいと思つています。

山同窓会からは吉田事務局長にもご出席をいただきました。更に島根県からも同窓生の参加を得て、総勢17名での同窓会となりました。

懇親会では、三輪（旧姓下津）真理さんによる歌と演奏があり、特に「故郷（ふるさと）」というオリジナル曲には、出席された方々が皆感慨深そうに聞きました。

また、井上（旧姓山田）昌子さんからは、この3月まで1年間生活しておられたハワイの話を

しを「ガイドブックにないハイイ」と題してお話ししていただき、出席者の間でもハワイ談義に花が咲きました。

品に行つたじやんけん大会も大変盛り上がりました。

平成26年の同窓会は秋、涼し

いただいたことにについて、心から感謝申し上げます。

広島県同窓会は、誕生して間

もない同窓会組織ですが、年々

出席者も増加しています。毎年、

8月の最後の土曜日から月の最

初の土曜日に開催する」として

います。

さて、平成24年9月1日には発

足した八代高校広島県同窓会の

一周年記念総会・懇親会を、去

る8月30日に開催しました。

再生して5年のピラミッド同窓

会ですが、これからどんどん発

展させ母校八代高校と連携を深

めていきたいと思つています。

前回（高3回卒）

前号の大分地区同窓会の文中、前岡様のお名前が前村になつております。お詫びして、訂正いたします。

再生して5年のピラミッド同窓

会ですが、これからどんどん発展させ母校八代高校と連携を深めていきたいと思つています。



学年回窓会だより

高女41回卒

昭和20年卒

花の明るさにやられ、今
年も声をかけ合しささやかに
「ミニ回窓会」を致しました。



昭和20年卒業式は空襲警報で
中断となり、その時から初めてそ
れでも会つた瞬間、昨日別れた
ばかりの様に、ちゃんと付けの愛
稱で呼び合は長い空白を取り戻
すのに時間はかかりません。

笑顔、笑顔のうちに楽しい刻は
あつと云う間です。「お元気で」
とお互の健康を気遣いながら再
会を約しました。
わまわまないと感じ出す
わくわかな
芭蕉

昭和20年卒業式は空襲警報で
中断となり、その時から初めてそ
れでも会つた瞬間、昨日別れた
ばかりの様に、ちゃんと付けの愛
稱で呼び合は長い空白を取り戻
すのに時間はかかりません。

笑顔、笑顔のうちに楽しい刻は
あつと云う間です。「お元気で」
とお互の健康を気遣いながら再
会を約しました。
わまわまないと感じ出す
わくわかな
芭蕉

八中48回卒 八高1回卒

昭和23年卒
昭和24年卒

中学48回、
高校1回同窓会だより

去秋、11月22日、最後の23回



「神さび同窓会」をグランドホ
テルで開催。家族1名を加え、
25名。開宴後、程なく鳴首会談、
円卓会議が発生、低調広汎の騒
音と、高音の笑いが交響。老春、
わざやかな抵抗。

故郷秋の宴なりけり
カラオケのおもてなし無し
見渡せば、光り白髪をこな交ぜて
だったが、不
満を洩らさぬ
のが激動を生
きた昭和一桁
のキャラク
ター。その分、
重厚長大の今
昔物語で無限
大の倍返し。

戦争のさ中
に入學し、勤
労奉仕、予科
練入隊、学徒
動員、空襲被
災、戦後の混
学校を続けた人たちは、八代

平成25年10月22日に開催した
殿二会の同窓会で、解散するこ
とが決まりました。
解散はまだ早い、今後も続け
ようという意見もしましたが、
世話をしてきた人たちの大半
が、健康を損ねている現状では、
解散も致し方ないだらうといつ
ことになりました。

私たちは、昭和19年4月に八
代中学、八代高女に入學しまし
た。終戦を挟んで、中学、高女
4年生の時、義務教育制度が変
わりました。それまでの制度で
中学校、女学校を4年で卒業す
る人達もいました。23年3月に
卒業した人たちで、八代中学49
回、八代高女44回卒となり、そ
れぞの学校の最後を締めくく
りました。



八高2回卒

昭和25年卒

殿二会の解散報告

平成25年10月22日に開催した

殿二会の同窓会で、解散するこ
とが決まりました。

解散はまだ早い、今後も続け
ようという意見もしましたが、
世話をしてきた人たちの大半
が、健康を損ねている現状では、
解散も致し方ないだらうといつ
ことになりました。

私たちは、昭和19年4月に八
代中学、八代高女に入學しまし
た。終戦を挟んで、中学、高女
4年生の時、義務教育制度が変
わりました。それまでの制度で
中学校、女学校を4年で卒業す
る人達もいました。23年3月に
卒業した人たちで、八代中学49
回、八代高女44回卒となり、そ
れぞの学校の最後を締めくく
りました。

八高5回卒

昭和28年卒

ミニ集会続き
八高想う

学舎を卒業後、それぞれに一
段落し時間的にも少々ゆとりが
持てるようになつた頃（42、43
年前）より、なんとなく毎月
「二十一日会」として始められ
た10数名のミニ集会は、脈々と
今でも続いております。

数名の増減は生じましたが、
八高卒業後60年、傘寿を迎える
今日、よくもここまで続いたも
のだという思いに耽る事多し。
講金という一応の名目はありま
すものの、22日となれば各自が
決まった場所に集まり、昼食を
とりながら皆思いの丈を語り合
い、毎月健健康でいることの確認
とでも云いましょうか、気楽な
中にも脳を鍛える話、長生きし
人の意見、またその反対の人、
時には食のプロジェクト的な会

乱教育等、授業難民生徒」とつ
て、対話はロングラン。華やぎ
もかくて店仕舞い。「神さび同
窓会」の栄誉と発展的解散を讚
え、バンザイ三唱で幕。だけど
みんなしEロより長持ちしよ
う。東京オリンピックを観よつ。
後期高齢の兵どもの群は、「御夜
じん」の箇に袖を分けた。

高校2年編入となり、25年3月
に八代高校第2回卒業生として
巣立つていきました。

同じ年に入学した人たちが一
つに分かれ卒業する混乱の時
代。3年の時、女学校から女子
が引つ越してきて、男女共学と
はなつたものの、ほんの一部だ
けで、6クラス中、1クラスだ
けが、共学の恩恵に浴していた
だけでした。

卒業後60有余年。会は解散し
ましたが、八代中学、八代高女、
ハ代高校の時代のことは心の中
に、鮮明に残っています。「殿
二会」の青春の絆を永久に！
平岡尚道（高2回卒）



話になつたりする事もあります。この集会のリーダー的存在は阿部淳子さんで、八高同窓会理事としてもたいへん頑張つておられ、毎年全体同窓会にも力を注いでおられます。

私の想いかもしれませんのが、度々22日になるとなぜか八高3年時がふと浮動するのです。旧校舎3階各教室の印象が深く、蔓(かずら)で覆われた景色を想い懐かしむのも八代永住の故でしょうか。コンクリート廊下を「シャ・シャ・」(當時の人にはわかります)の音と先生方のお姿、特に児玉先生の世界史の授業は八代弁が交じり先生と生徒の融合然り、楽しくて理解度は高いものでした。試験の答案用紙を教壇の上より名前を呼びながらまかれる情景も一流。教室内はほとんどが男子で女子は2名、誰といって慌てる人もなし、のびのびしていたような学校生活。今となつては青春の一幕としてでも懐かしくよみがえります。

質素にして剛健な八高精神のもと、母校が限りなく発展して

いきます様心よりお祈り申し上げ、更には私共の二十一回会が楽しいいつまでも続いていくことを切望致します。

上原桂子（高5回卒）

傘寿クラス会開催



平成22年発行の同窓会名簿で何名の出席者が居るか調査して始めようという事になり、体育の日前後にクラス会を開催するが、出席できる人は電話連絡をお願いしたいと、案内状を全員へ送付した。

その結果、住所不明3名、死者17名に4名追加、住所変更が1名と判明した。

女性の中に八代へ行きたいが体調不良になり現状では行けそうがないので、出来るだけ遅く開催してほしいと要望があり10月31日新大阪屋12時30分開会と決定した。

クラス会は話とカラオケで15時迄和気藹藹の内にすすみ、3時から八代高校の蘇鉄の前で写真を撮り、一部の人達は市内の病院へ入院中の級友を見舞いに行き、自然解散となつた。

私達のクラ

スは卒業時の人員50名、現在、住所不明の人3名、死亡した人21名、そして病人が13名くらいになった。

平成27年に次回のクラス会を開催する予定ですが何名出席できるかが関心事である。元気だったのは遠方から来てくれた女性陣だけである。

澤田九洲男（高5回卒）

八高6回卒

昭和29年卒

「傘寿の祝い」

前回「最後の同窓会」として開催したのが3年前でした。

その後、徐々にもう一度会つて交友を温めようという気運が盛り上がり、5月14日㈬に実施致しました。

お世話をほともう参加者の数が心配されました。が予想外というか、嬉しい悲鳴といいますか110名という多数の方が参加され、藤門先生より祝福の言葉をいただきました。

昭和20年代後半の高校生活を振り返ってみると、実際に素晴らしい3年間を過したものです。当時は受験戦争の時代でもなく、楽しく愉快に過ごしたことは、年齢を重ねれば重ねる程胸によみがえってきます。

決して悪い意味ではなく夫々の先生方に「あだ名」をつけ

続きで各地でゲリラ豪雨が猛威をふるっています。

同窓生の皆様方にも被害が及ばなかつたか心配されます。

みなさん、ご健勝にてお過ごし下さい。

今年は、例年ない異常気象で呼んだいともなつかしい思い出です。



八高9回卒

昭和32年卒

喜寿祝賀同窓会

5月31日㈯、セレクトロイヤル八代にて開催。80名の参加で、

神事「喜寿祝賀及び健康長寿祈願」の後、出席者全員へ遥拝神社家内安全御守護並びに健康長寿御守を戴きました。

遠路からの出席者や久しぶりの再会になつかしく、杯を酌み交わし、旧交を温め、更なる親父を深め、お互いの益々の健康長

八高10回卒

昭和33年卒

鳥取・島根を訪ねる修学旅行—復刻版

関西在住の10回生恒例のバスツアーは鳥取・島根の「出雲路めぐり」を5月の7・8・9日に開催しました。

貸切バスはなんばを出発。大阪空港・新大阪駅と回周して27名を乗せ、大山・足立美術館・境港・鳥取砂丘東を訪ねる2泊3日のツアーや。

あの時代（高2の時）修学旅行は女性のみで男性はその間自習。好き者同士での写真が少ない反動で、今回は待望の写真が



何枚撮れるか?そんな淡い期待

も抱かせて、中国自動車道を西へと向う。

初日の昼食は吉井川が流れる津山。ここは本能寺の変で討死した森蘭丸の弟森忠政が築いた城址のある町。またNHKの朝ドラ「あぐり」の舞台ともなった町。城跡ではボランティアガイドの案内で、迷路のような三層の石垣群に囲まれた石段を登りながら往時を偲ぶ。

津山を発つたバスはいつの間にか米子自動車道に入り、蒜山高原SAにて小休止。バスを降りると、山と緑に囲まれ爽やかな空気が漂う。年間12万本の売上り上げを誇るじふつミルクが濃厚なジャージーソフトクリームの味覚に浸りながら、これから目指す大山の方角に視線を向けると、山陰のマッターホルンの別名がある鳥ヶ山が、晴天の中こそびえ立ち、裾野を広げて待っている。



咲きの山桜が残る中を縫うよう

に走り続け、蒜山高原SAから眺望された鳥ヶ山に抱かれた白亜の建物休暇村奥大山に到着。

そこは未だ残雪の残る原生林に囲まれた山のリゾートであった。

明日は大山レカイチの展望台鍵掛峠から日本最大級のフラワーパークのとつとり花回廊へ。その後も、名園名画の足立美術館。境港では水木しげるゲゲの妖怪探訪。皆生温泉。鳥取砂丘。鳥取藩の止宿智頭等を訪ねる今年のツアーモ、閉じるページが惜しい思いの連続になります。

生きとくらし、长寿の祝を目指に元気で再会しましよう。お知らせを楽しみにお待ち下さい。

橋口敏昭（高10回卒）

妖怪の 黄泉は こひなつと
道をしき（ふみよ）

八高11回卒
昭和34年卒

妖怪の 黄泉は こひなつと 道をしき（ふみよ）

八高11回卒生は、「元氣でいります」を合言葉に大同窓会へ出くれました。総勢30名、年に一度の再会を喜び合いました。

今年の当番学年のおもてなしに、「私達の当番の時は気がきかず申し訳ないことでしたね」と、反省しきり、当番学年さんありがとう、あなたの方のぐんぐん力で、楽しく心地良い同窓

会となり幸せでした。

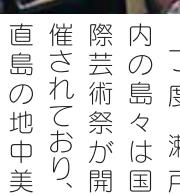
平成28年は、八高百一十周年の記念行事が行われます。ちょうど11回生は誕寿の年を迎えます。重ねてお祝いをいたしましょう。体に気をつけて元気でその日を迎えるよう御精進を!

もし、不幸にして身体が不由になったとしても、二本の杖を使ってノルディック・ウォーキングでリハビリに努め、恥ずかしがらず出席しましよう。生き

生きとくらし、长寿の祝を目指に元気で再会しましよう。お知らせを楽しみにお待ち下さい。

村上満智子（高11回卒）

生きとくらし、长寿の祝を目指に元気で再会しましよう。お知らせを楽しみにお待ち下さい。



がじやじもしたら、是非一度、岡山をお尋ね下さい。岡山在住の18回卒業生7名が喜んで「ご案内させていただきます。

また、随時、八高岡山同窓会便りを18回卒業生のみならず、全国約120名の方々へ発信しております。興味のある方は左記アドレスへアクセスください。

相田高範（高18回卒）
E-mail : mic-y814@rainbow.palala.or.jp

丁度、瀬戸内の島々は国際芸術祭が開催されており、直島の地中美術館や小豆島のオリーブ園、

昭和38年4月に胸躍(はぜ)て八高へ入学し、1年10組で机を並べたクラスメートが50年（半世紀）経った昨年9月、各地から岡山を訪ねていただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

映画「二十四の瞳」で使用された懐かしい校舎や映画村などをご訪問いただきました。

皆さんとお会いし、お話をし

ていると50年の歳月は一瞬に吹っ飛び、高校1年生当時と変わらない、賑やかな・賑やかな

クラスマート達でした。

帰路は高松から瀬戸大橋を経由し、最後に岡山駅頭で岡山に住む同期生にもお集まりいただき

いてのミニ同窓会も開催するこ

とができました。

写真は1年入室当時のクラス写真、1年生が終了した春に仲良しグループで立神峠へ出かけたお別れ遠足、そして、地中美術館前や

小豆島での記念写真と岡山駅でのミニ同窓会の様子です。

八高18回卒業生（昭和38年入

学・41年卒業）の皆さん、機会

がじやじもしたら、是非一度、岡山をお尋ね下さい。岡山在住の18回卒業生7名が喜んで「ご案内させていただきます。

また、随時、八高岡山同窓会便りを18回卒業生のみならず、全国約120名の方々へ発信しております。興味のある方は左記アドレスへアクセスください。

相田高範（高18回卒）
E-mail : mic-y814@rainbow.palala.or.jp

丁度、瀬戸内の島々は国際芸術祭が開催されており、直島の地中美術館や小豆島のオリーブ園、

昭和38年4月に胸躍(はぜ)て八高へ入学し、1年10組で机を並べたクラスメートが50年（半世紀）経った昨年9月、各地から岡山を訪ねていただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

映画「二十四の瞳」で使用された懐かしい校舎や映画村などをご訪問いただきました。

皆さんとお会いし、お話をし

ていると50年の歳月は一瞬に吹っ飛び、高校1年生当時と変わらない、賑やかな・賑やかな

クラスマート達でした。

帰路は高松から瀬戸大橋を経由し、最後に岡山駅頭で岡山に住む同期生にもお集まりいただき

いてのミニ同窓会も開催するこ

とができました。

写真は1年入室当時のクラス写

真、1年生が終了した春に仲良し

グループで立神峠へ出かけたお別

れ遠足、そして、地中美術館前や

小豆島での記念写真と岡山駅での

ミニ同窓会の様子です。

八高18回卒業生（昭和38年入

学・41年卒業）の皆さん、機会

問い合わせ先 田村（8組）
(電) 042-368-6368

奮ってご参加ください。お待ち

してま～す！

八高19回卒

昭和42年卒

「八高十九道の会」 白秋同窓会報告

昨年11月22日(金)セレクトロイ
ヤルハ代に、約120名の同窓
生が集い、還暦同窓会から5年
目の白秋同窓会を開催しました。

流暢な皆古副実行委員長の司
会で幕を開け、物故者への黙祷、
糸田実行委員長の挨拶、恩師紹
介、亀山先生の乾杯の音頭で開
宴と進みました。

還暦同窓会から5年目とは言
え、中には初参加の人も多く、
近況報告や、今だから聞かれるあ
の頃の思いなど、時間の経つた
も忘れて旧交を温めました。
妙見祭御夜にあわせて、獅子
舞の披露からイベントがスター
トし、八代首頭、オクラホマニ
キサーのフオーラダンスと高校
生時代へタイムスリップしました。

話題がない中、白(秋)に係
わるエピソードを、土山君(3
組)が紹介し、一本締めて、お
開きとなりました。(二回会も70
名を超える参加で盛大でした。)
多忙な中、白秋同窓会に出席
いただいた皆様に心から感謝と
お礼を申し上げます。

白秋同窓会のロゴは八高同
窓会HPに載せていましたので、
画像を差し上げました。



八高36回卒

昭和59年卒

30周年記念同窓会報告

平成26年1月3日(金)八代ホフ
イ・パレスにおいて、八代高校
第36回卒・30周年記念同窓会を
開催しました。

今回は、日帰りでの参加が可
能になるように、午後1時から
一次会を開始しました。

県内はもとより、国内外!!か
ら多くの参加者が駆けつけ、総

勢119名(先生5名と生徒
114名)でとてもにぎやかに
楽しい時間を過ごしました。

30年時の担任であった高野
先生、滝本先生、松本先生、平
川先生、田中先生にお越しいた
だき、記念品としてオーストラ
リア在住で画家として活動して
いる7組の緒方くんが描いた肖

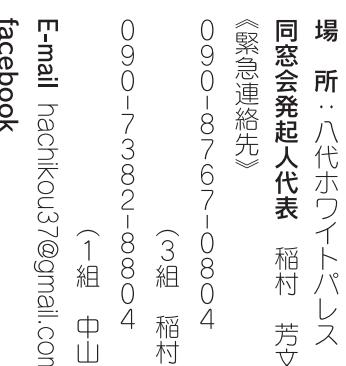
八高37回卒

昭和60年卒

八代高校37回卒・ 卒業30周年記念 同窓会のご案内

平成26年度に48歳になる頃や
ん、ぜひ出席ください。

開催日: 平成27年1月22日(金)
14時~(13時半~ 取扱)



八高56回卒

平成16年卒

八高56回卒10年同窓会

本年1月2日(日)、八代ホフイ・パ
レスにて平成16年3月卒業、八高
56回生の同窓会を開催しました。
同窓生100名、恩師6名出席

して頂き、久しぶりの再会に胸
を躍らせました。

中村誠吾学年幹事の挨拶を皮切
りに乾杯。まずは近況報告や思
い出話に花を咲かせました。10年ぶ
りで誰が誰だかわからないのでは
と心配していましたが、皆昔の面
影が残つておりあつらつとも打
ち解け、また席の配置をクラス毎

ではなくバラバラにしたけれど、
沢山の同窓生と会話できたと好評
でした。正田三が田といつ事もね
り、結婚して相手方の実家に帰省
して参加できなかった同窓生も多く
いました。

盛況で名残惜しきれどあります。
が、次回卒業20年後の同窓会で
再会を約束し、それぞれの「道」
へと帰りました。

— 泰憲(高6回卒)

場所: 八代ホフイ・パレス
同窓会発起人代表 稲村 芳文
《緊急連絡先》
090-8767-0804
(3組 稲村)
E-mail hachikou37@gmail.com
facebook 「熊本県立八代高等学校」

37回卒・同窓会
([www.facebook.com/37.yatsushiro.hs])
090-8767-0804
(1組 中三)
E-mail hachikou37@gmail.com
facebook 「熊本県立八代高等学校」



八高56回卒

平成16年卒

八高56回卒10年同窓会

本年1月2日(日)、八代ホフイ・パ
レスにて平成16年3月卒業、八高
56回生の同窓会を開催しました。
同窓生100名、恩師6名出席

して頂き、久しぶりの再会に胸
を躍らせました。

中村誠吾学年幹事の挨拶を皮切
りに乾杯。まずは近況報告や思
い出話に花を咲かせました。10年ぶ
りで誰が誰だかわからないのでは
と心配していましたが、皆昔の面
影が残つておりあつらつとも打
ち解け、また席の配置をクラス毎

ではなくバラバラにしたけれど、
沢山の同窓生と会話できたと好評
でした。正田三が田といつ事もね
り、結婚して相手方の実家に帰省
して参加できなかった同窓生多く
いました。

盛況で名残惜しきれどあります。
が、次回卒業20年後の同窓会で
再会を約束し、それぞれの「道」
へと帰りました。

平成26年度 八高座談会

8月8日 於セレクトロイヤル八代

熱血青春!!八高生物語 「部活動男子編」



出席者

岡山元紀 同窓会会长

江崎博美 (高36回)

黒田武 (高15回バスケット部)

鶴田健 (高21回バスケット部)

花岡勉 (高2回バレー部)

濱口護 (高10回バレー部)

丁畠正敏 (高17回バレー部)

福島和敏 (高13回野球部)

池田義信 (高20回野球部)

磯田孝浩 (高34回野球部)

稻村芳文 (高37回野球部)

渕田義昭 (高16回ラグビー部)

江嶋久 (高43回ラグビー部)

岡山会長 殿さんこんにちは。同窓会報は、全国にいる23500余名の会員全員に配布しており、今年で6回目の発行となります。過去5回の八高座談会は、世代ごとにお話をしてもらいました。今回の八高座談会は、部活動を題材にし、とりわけOB会の活発な4つのクラブに出席いたきました。高2回の花岡先輩から、高43回の江嶋さんまで、41年の年齢差がありますが、楽しいお話を聞かせていただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。

司会 本日の司会をします、高36回の江崎と言います。よろしくお願ひいたします。最初におひとりずつ自己紹介をお願いします。



岡山 元紀さん



江崎 博美さん



黒田 武さん

黒田 高15回の黒田です。太田郷小、二中、八高、日体大出身です。バスケット一筋でした。

2年前に亡くなりましたが、3年生の時、同じクラスに馬淵氏がいました。彼は、日体大ラグビー部の花形選手で、日体大が32年ぶりに早稲田に勝った時の功労者でした。

鶴田 高21回の鶴田です。黒田先生の教え子で、先生には、物心共々お世話になりました。初任地人吉高校を皮切りに最後の5年間は母校八高で教師をしておりました。よろしくお願ひいたします。

花岡 高2回の花岡です。旧制八代中学からの同窓生です。中学生3年生の時、県大会に初めて出場しました。ハ中からバスケットとバレーが二つ出場しましたが、二つとも御船中学と決勝戦に当たり、共に優勝しました。戦後最初ということでの八代にとつての明るいスタートになつたと思います。その後、指導者に恵まれず、悪戦苦闘の連続でしたが、それが糧となつて、仲間と勉強や練習に励むことが出来て、良い思い出となりました。

濱口 高10回卒の濱口です。野球部の濱口です。現在72歳、平均寿命が80歳とありますので、あと8年間、故郷八代のため、命がけで頑張つていこうと考えています。(笑い)

丁畠 高17回卒の丁畠です。私は陸上部で、私はバレー部でした。現在、八代市のバレー協会の会長をしています。

福島 高17回卒の福島です。私は陸上部で、私はバレー部でした。現在、八代市のバレー協会の会長をしています。

来て、良い思い出となつています。そこいら辺を今回話はしたいと思っています。

稲村 高37回卒の稲村です。野球部所属でした。先日ソフトバングの試合を見に行つたら、秋山先輩とお会いでき、Y-10ルームへ通され、「今の八高はどうや」と聞かれ、「今年の夏の予選は第一試合で、矢部と当ります」と報告しましたら、「それなら勝てる」と言われました。前年度まで八高のPTA会長をしておりました。よろしくお願ひいたしました。

渕田 高16回卒の渕田です。ラグビーをやつっていました。今日は遅刻してしまいましたが、見てみると八高時代も、毎日遅刻しておった記憶があります。

磯田 高34回卒の磯田です。野球部に在籍していました。ソ

フトバンクの秋山監督の一つ下の学年でした。勉強は全然せず、ただ、野球だけをしに八高に通つておりました。

出席の黒田先生には、3年の時に監督をしていただき、1年間、みつかりと鍛われました。高校3年間のラグビーを通じて、いろんな人と出会い、いろんな面で助けられてきました。現在、八代ラグビースクールのコーチをしております。

楽しかったクラブ活動。そこで培った絆はOB会として、今も続いている。

司会 有難うございました。本日は、運動部なりではのお話が聞けたらと思います。早速ですが、皆さん方が所属された部のモットー、精神をお聞かせ下さい。

花岡 とにかく、バレーの練習は、ボールを落さないことの一事が尽きるという事で、随分鍛えられました。日曜日もなく、夏休みも毎日学校へ来て、練習でした。部員全員クラブ中心の学校生活でしたから、キャプテンとして「勉強は12時までに終わらないと体がもたんぞ。復習中心の勉強でよか。」と、指導していました。当時を振り返ると、戦争に負け、予科練や学徒動員で帰つてきただ友は皆、挫折し、自信を無くし、人生の目標を見出せないままでした。そんな時、クラブ活動に光明を見出し、無心に頑張りました。スポーツに打ち込んだことで、救われていたと思っています。そんな訳で、一緒に頑張った仲間とは、OB会を通じて、今も親交を深めています。

濱口 花岡先輩の8年後のバレーボー部でした。私たちは、楽し



鶴田 健さん



花岡 勉さん



濱口 護さん

丁畠 私は、濱口先輩の8年後に入部しました。(笑い) 当時は、東京オリンピックの年で、わりとバレーボールが着目されてくるようになりましたが、やっぱり部員は少なかったです。しかし、の入制から6人制のバレーに変わったので、どうやらチームを組むことが出来ました。ルールも大きく変わったのを覚えてます。夏休みの合宿には部員以上の方々が来られ、中でも、高14回の平田先輩から日本式指導で随分と鍛えられました。へとへとになりました。

測田 ラグビーには「A」

岡山会長 私は、陸上部だった昔からの懸案事項。八高の部活は、指導者にめぐまれなかつた?

江嶋 私達の時も部員不足で、ほかのクラブから選手を借りて、試合に出たこともあります。OBの方々が良く来られ、練習を指導していただきました。先輩方に支えられ、ラグビーを続けることが出来ました。現在、八代ラグビースクールで練習している中学生が何名か八高を目指して、頑張っています。近い将来、八高ラグビー部の再開を期待しています。

花岡 やはり、高校の運動部は良い指導者に恵まれることが一番でしょうか。指導者の件で、同窓会でお手伝いできることがありますか。

司会 それはいい指導者に出会えればそれについたことはありませんよ。ただ良い指導者といふのは、スターの選手ではなく、高校や大学時代万年補欠だった人が良い。練習の厳しさもわかれています。

花岡 先輩の時はいかがでしたか。指導者の先生はおられましたか。猛練習をされておられた花岡先輩の時はいかがでしたか。せんでしたので、先輩方が指導してくれました。最初に県大会で優勝した時は、中47回の田崎純一郎さんに教わりました。また、戦後満州から引き揚げてこられた方で、旧高田農協にお勤めだった名選手の末永さんという方がおられ、指導していただきました。授業が終わると、高田小学校まで歩いて通い、練習し、八代駅まで歩いて帰っていました。ただ、監督はおられませんでした。全国大会に3年連続出場しましたが、八高だけは、監督の先生がいらっしゃらず、大変惨めな思いをしました。

花岡 それにはいい指導者に出会い、それについたことはあります。ただ良い指導者といふのは、スターの選手ではなく、高校や大学時代万年補欠だった人が良い。練習の厳しさもわかれています。

は市内の小学校の講堂を使っていました。

池田 私達の頃は、グラウンドは練習どころか、石拾いばかりさせられました。(笑い)

渕田 私達の時に、県レベルのラグビー大会が八代であつたのですが、八高のグラウンドが石ころだらけで使えず、代陽小学校のグラウンドをお借りしました。ホールは材木屋から丸太を買つてきて、お手製で作りました。

司会 クラブの部室ですが、部室と言えば、隠れて悪いことをするというイメージがありますが皆さんの時はどうでしたか。

渕田 ラグビーとサッカーは大変仲が良くて、隣同士でしたので、入口は別々でしたが、間切りを取つ払つて一つの部屋にしていました。その中で、先輩たちはいろいろされていたみたいですね。(笑い)

鶴田 現在は、部室はきれいに整備されています。ただ着替え参加しておられます。

池田 私達の時、野球部にマネージャー第1号が誕生しました。嬉しかったですね。○B会にも参加しておられます。

司会 各クラブの予算獲得の苦労をお聞かせください。

渕田 予算折衝は、自治会の執行部の方とクラブの代表で行つていました。野球部の予算が突出して多かったです。私達も頑張って、2位の予算を獲得しましたが、野球部が12万円、ラグビーが8万円位でした。そのお金で、ジャージ(ユニホーム)を新調しました。

花岡 貧乏な時代でしたので、予算の総額はわずかなものでしたね。それを皆で分け合つので、話し合いは熾烈でした。部は予算が多くなると、サッカー部からクレームがつきました。「バレーは手にするスポーツだから、ボールが痛まん」ということでした。「バレーのボールの皮は確かにやわらかいが、上達するとスパイクの度に、大地との摩擦で傷んでしまうが、サッカーは上手くなると、ボールを空中だけで扱うようになるから、ボールは痛まん」と反論しました。(笑い)

鶴田 八高の特徴として、予算の折衝はすべて生徒達が行つていました。自治会を中心に、クラブの代表同士で、話し合いで決めています。これは、八高だけで、前任の熊工は、違っていました。熊工は生徒では予算申

請もしませんし、弱肉強食で、強いクラブがどんどん予算を獲得していました。予算の使い道ですが、バスケットシューズを買つ時に、顧問の先生から半券を頂き、それを持って、運動道具店へ行くと、半額で買えました。非常に助かりました。

磯田 私たちは、予算が少なかつたので、破れた野球ボールを授業中に机の下で縫つていました。先輩に何日までに、何個ずつ縫つてこいと言われていました。試合の1週間前に「ユーボールが与えられるので、ボールになれるのが大変でした。(笑い)

黒田 秋山君が西武に行つた後、練習ボールが籠いっぱい送られてきましたね。嬉しかったです。

鶴田 道具は大事に使つていましたね。バスケットボールを「あかだし」と言つて、睡を付けてピカピカになるように、素手で磨いていました。おかげで指紋が消えました。(笑い) 今の子供たちは、ボールを収納する籠にボールを投げ込んだり、平氣でボールの上に座つたりしているので、よく注意をします。部室には、時計などの忘れ物がいっぱいあって取りに来ない。豊かな時代で道具がいっぱいあるせいなのかなと思います。

福島 磯田君が言つていたボーラルを縫う事を、今の父母はやらせてくれるなど言ひます。ボールは買えば良い、その分勉強に回して欲しいということです。

勿論、子供たちはボールを縫いもきらんです。野球部は自治会からの予算だけではなく、父母をを集めます。年間で90万円を超えます。ユーボールもいづばい買えるし、バットだつて何十本もある。豊かな時代ですよ。

花岡 私達の時は、ボールは2個しかなかつた。だから、ぼやつけていたならなかなかボールが廻つてこない。どちらにボールが来るか、練習の時はみんな真剣でした。だから、強かつたのだとだと思います。ボールがパンクすると、途中で自転車屋に行つて修繕でした。その間、コートの草取りをさせられました(笑) とにかく、道具を大事にしない

花岡 ボールは貴重品でした。試合の時は両チームから持ち寄つて、いい方のボールを試合球にしていました。ですから自分達のは使わせたくないといふ事で、済々黙なんかは、わざと、ボールの空気を抜いていました。

花岡 ボールは貴重品でした。試合の時は両チームから持ち寄つて、いい方のボールを試合球にしていました。ですから自分達のは使わせたくないといふ事で、済々黙なんかは、わざと、ボールの空気を抜いていました。

濱口 そもそもバレーのボールは、バスケットボールのチューブを使って始まつた。あんまりふわふわだったので、それに米国で皮を付けて、今のボールになりました。戦後間もない時で、ものすごく



磯田 孝浩さん



稻村 芳文さん

丁畠 試合球はいいボールでした。少ない予算で、試合球を買おうのが夢でした。普段は、オンラインのボールで練習していましたね。

池田 バットは竹バットが良かったですね。竹だから折れなんですよ。竹を合板にしたバットで、試合時に使用していました。

稻村 私達の頃は、もう、竹バツトは無かったです。(笑い)

福島 今日は、野球部が頂点だった秋山時代の2人が来ていましたが、何故強かつたのか、聞きました

いですね。

機田 厳しい練習をしてきたと

いう記憶はありませんが、皆経験者で、ほとんどの人が、中学

時代はキャブテンとか生徒会長

をしていました。ですから、工

木先生の指導もよかったです

が、ほとんど毎日考えて、樂しく練習していました。非常に仲の良いチームでした。練習が終わつたら、皆で飯を食べて、和氣あいあいでした。チームワークのせいか、一点差が多くつたのですが、いつの間にか試合に勝っていたのです。強豪チームに勝った時は嬉しかったですね。

藤崎台には、電車とバスを乗り継いで自分達だけで行つていま

した。バス停から球場までの長い坂を重い野球道具を背負つてです。それに、1年生には持たせず、レギュラー全員担いでいました。着いた時は、ボロボロになつていました。着いた時は、ボロボロになつていました。(笑い)

は送迎バスがあつて、私達とは大違いでした。(笑い)

花岡 僕らの頃は、試合の時は選手だけ、汽車賃と電車賃が出ていました。補欠も連れて行こうと、運賃をせり出す為に、熊

本駅から会場まで歩いていきました。結局、連れてきた後輩たちも、実際に試合を見ることが出来、後に続くことが出来た

思っています。

濱口 バレー部出身者の多くが教員となり、自分のチームを持つようになりました。当時は、八高時代のクラブ活動で学んだ事を生かそうと、教員になった者が多かったです。そんな訳で、合宿の指導には、熊大の教育学部の学生が、良く来てくれていました。

濱口 バレー部出身者の多くが教員となり、自分のチームを持つようになりました。当時は、八高時代のクラブ活動で学んだ事を生かそうと、教員になった者が多かったです。そんな訳で、合宿の指導には、熊大の教育学部の学生が、良く来てくれていました。

鶴田 僕は、勉強はあまりせず、練習ばかりしていましたが、同期に、防大に行つたのがいました。「八高生は大器晩成」と黒田先生からよく言われていました。

八高で培つたとの接し方など、大学や社会に出てから、ためになっています。バスケット部は、

昨年1月に、創部50周年の祝賀会をやりました。上は黒田先生

から下は、酒を出すという事で20歳限定にしましたが、2000人以上のOB達が集まりました。

僕らは、黒田先生から、毎日、蜂漬饅頭やお好み焼きを食べさせてもらつっていました。後で聞くと、先生は、親に借金して僕らに食べさせてくれていたとい

う事でした。毎年、1月2日にOB会を開いて、親交を深めて

いますが、先輩後輩の縦の繋がり、チームの友の横の繋がり、

そして、先生方との繋がりが、自分たちを育ててくださつたと

思っています。八高の素晴らしい

人材が、たくさんの育つ

所でした。(笑い)

司会 司会 八高は「文武両道」を学校の校是としていますが、勉強とクラブの両立といふ点で、皆さんの頃はどうでしたか。

渕田 それについては、皆黙つとる。(笑い)

黒田 それは、八高の宿命でした。私の先輩たちには、医者が数多くおられ、九大医学部や慶應等を卒業された優秀な人が多かつた。私の1年の時のキャブテンは、早稲田の理工学部に行かれました。バスケット部は優秀でした。(笑い)

花岡 僕らは7人中4人が進学者や校長、京都で市議員をしているな

への移行期でしたが、八高そのものの位置づけが高く、皆、プライドも高かったです。だから、両立させなければならんと、随分努力していました。

鶴田 僕は、勉強はあまりせず、練習ばかりしていましたが、同期に、防大に行つたのがいました。「八高生は大器晩成」と黒田先生からよく言われていました。

八高で培つたとの接し方など、大学や社会に出てから、ためになっています。バスケット部は、

昨年1月に、創部50周年の祝賀会をやりました。上は黒田先生

から下は、酒を出すという事で20歳限定にしましたが、2000人以上のOB達が集まりました。

僕らは、黒田先生から、毎日、蜂漬饅頭やお好み焼きを食べさせてもらつっていました。後で聞くと、先生は、親に借金して僕らに食べさせてくれていたとい

う事でした。毎年、1月2日にOB会を開いて、親交を深めて

いますが、先輩後輩の縦の繋がり、

そして、先生方との繋がりが、自分たちを育ててくださつたと

思っています。八高の素晴らしい

人材が、たくさんの育つ

所でした。(笑い)

司会 司会 江嶋 江嶋の後輩で、高52回の江

OB会を開いて、親交を深めて

いますが、先輩後輩の縦の繋がり、

そして、先生方との繋がりが、自分たちを育ててくださつたと

思っています。八高の素晴らしい

人材が、たくさんの育つ

所でした。(笑い)

花岡 僕らは7人中4人が進学者や校長、京都で市議員をしているな

ど、優秀な者がたくさんいました。た。皆、現役で今も頑張っています。

鶴田 八高で、バスケット部を5年間指導していましたが、県

で2回、ベスト8になつたこと

がありました。驚くことに、強

い時の方が勉強の成績は、良い

傾向にあります。現役で九大や

熊大の薬学部等ほとんど国立大

に入学しました。彼らは、非常

に仲がいいし、生活もよく、挨

拶もきちんとするし、服装も良

い時は、仲間が意識を持つて

皆で頑張ることが出来れば、必

ず勉強にも反映します。

渕田 ラグビーをする人は、元

来頭のいい人が多いですが、た

だ、私の周りにはいませんでし

た。(笑い) 他校では、医者やえ

らい政治家になつた人もいまし

た。

江嶋 江嶋の後輩で、高52回の江

OB会を開いて、親交を深めていました。バレー協会が、昨年60周年記念を行いましたが、その歴史を見てみると、八高のOBが果たしてきた役割は大きいものでした。

濱口 ハ高でクラブをした人は、

八代市の体協では、各競技でつくる連盟の役員になつている人

がたくさんいます。バレーは私

で、卓球は白石、柔道の福岡に

山岳の池田と私の同期で、4名

の方が会長をしていました。野球

など他の競技でも中心になつて

いました。バレー協会が、昨年60

周年記念を行いましたが、その

歴史を見てみると、八高のOB

が果たしてきた役割は大きいものでした。

司会 部活動を通じて培つた精神は、今の自分たちに続いている

司会 皆さんには、部活で培つた精神をどう、実社会で生かしておられますか。例えば、福島先生が、市長時代に、「全員野球」を唱えておられましたが、具体的なお話が聞けたら幸いです。

福島 結局、何のために学生時代、スポーツをやるかという事だと思います。自分の一生の人が間形成の中で、高校の3年間は最も重要な期間です。その時代をどう充実したものとして過ごすのかが、その人の人生を左右すると言つても過言ではない。その一部が勉強であつて、一部がスポーツであると思います。それを経験したならば社会に出てどこへ行つても、皆から信頼し続けられる人間になると思います。

黒田 私は、長年、スポーツクラブの顧問をしていました。勝つことの意義を追求しなければクラブ活動の意味がないと思います。だからして、勝つたのだから、どうして負けたのだろうと考えることに意味がある。決勝戦でもし勝っていたら自分の人生は変わつていただろうと思うことがあるでしょう。勝つことがどんなに尊いのかを、本来、クラブ活動で教えてやる事が大事です。勝つために血のにじむような努力をしたけれども、結果は負けてしまった。その時の涙や悔しさは耐え難いものでしよう。これを経験することこそが、6時限の授業の後に経験するクラブ活動に与えられた使命だと考えています。

花岡 人生を歩んで行くうえで最も重要な使命だと思われています。

代、スポーツをやるかという事だと思います。自分の一生の人間形成の中で、高校の3年間は最も重要な期間です。その時代をどう充実したものとして過ごすのかが、その人の人生を左右すると言つても過言ではない。その一部が勉強であつて、一部がスポーツであると思います。それを経験したならば社会に出てどこへ行つても、皆から信頼し続けられる人間になると思います。

黒田 私は、長年、スポーツクラブの顧問をしていました。勝つことの意義を追求しなければ

チームプレーをしたことが、大事になってしまいます。部活動を通じて、勝利という一つの目標に向かつて、皆が思いあつて助け合つて努力していく中で、キャラバンとしての立場や、チーム員としての各自の立場で、チームにどう貢献していくのかを考え、リーダーシップやメンバー・シップを学んでいくことが出来ます。そして、体力と精神力を養い、学業面と両立させようと、懸命に努力していく姿勢が、後で必ず、素晴らしい人間を育てていくことに繋がっていく事だと思います。

渕田 ラグビーをやつていて良かったと思うのは、人間関係に恵まれたことだと思ってます。自分を支えてくれた友達や先輩がたや後輩が沢山いたこと、自分の周りの人々を大事にするというラグビーの精神が財産となつて、今日の自分自身や仕事を支えてくれたと感謝しています。

濱口 私は、高校では同じ釜の飯を食うのは先輩後輩を入れて5年間と思っています。その間はずーっと絆がりが出来ます。

池田 野球というチームプレーを通じて学んだ事は、人を思いやる心でした。「たかがキャッチボール、されどキャッチボール」という言葉があります。相手が

チームプレーをしたことが、大事になってしまいます。部活動を通じて、勝利という一つの目標に向かつて、皆が思いあつて助け合つて努力していく中で、キャラバンとしての立場や、チーム員としての各自の立場で、チームにどう貢献していくのかを考え、リーダーシップやメンバー・シップを学んでいくことが出来ます。そして、体力と精神力を養い、学業面と両立させようと、懸命に努力していく姿勢が、後で必ず、素晴らしい人間を育てていくことに繋がっていく事だと思います。

稻村 前年までハ高のPTA会長だった経験からお話をします。先日の甲子園の予選では、1回戦は矢部に勝ち2回戦は鎮西に当りました。彼らの目標は、コールド負けをしないことで、8回まで1対1でき、の回に4点を入れられて負けたのです。が、「ナイスゲーム」とし、選手も父兄たちもハ高応援団のみんな喜んでいました。私は、これから社会に出て、いろんな場面で競争していかなければならぬ彼らにとって、果たしてこれでいいのかと思いました。文武両道と言えば、スポーツも勉強も両方、トップを目指すことであって、中の上を目指すことでないと思います。現在のハ高生を見ていますと、自分から進んで挨拶してくれる子も少ないが、補導される子も少なく、総じておとなしい、お利口さんの生徒達といったイメージです。反面、人間力やコミュニケーション能力が不足している様な気がします。野球部の父兄会では、勉強に差支えないよう、練習時間に制限を求める声を多く聞きます。まさに、このことが、ハ高の学校運営の現状を物語っています。

球を取りやすいようにボールを投げてやることです。ハ高野球部の3年間で学んだ事を大事にしています。

黒田 それがハ高です。あなたが言いなった事が、ハ高の現状です。(笑い) 城南の「雄」と言われるが、実際は、城南の「湯」で、ゆたーととした校風になっています。(笑い) ハ高的部活動を考えた場合、総じて、ハ高の置かれている環境を考えなければなりません。子供たちを試合に連れて行くと、まず、緊張して上がってしまいます。そんな

時間が制限されてしまう。チームプレーの運動部にとつてそれは致命的である思います。生徒が主体とされ、おのずと練習是非、甲子園に行つてもらいたい。関西同窓会の人に喜んでもらいたいですね(笑い)ハ高は地域に根差した高校として、城南地域出身者からの選手で構成した野球チームとして是非、甲子園に行つてもらいたい。関西同窓会の人に喜んでもらいたいですね(笑い)ハ高を、単なる通過点と思うような人では困る。そして、H高のOBが指導者にならなきやいかん。情熱が違う。

福島 ハ高を、単なる通過点と思いませんが、今のハ高は、進学が主体とされ、おのずと練習時間が制限されてしまう。チームプレーの運動部にとつてそれは致命的であると思います。生徒をどう育てていくのかを原点として、考えていくべき時期に来てじると思います。

岡山会長 クラブ活動で、歴史や部員数の上でインパクトの大さいのは野球部だとと思うのですが、関西の同窓会に行くといつも言われるのが「甲子園でハ高校歌「道」を歌いたい」ですが、実際のところどうなのでしょうか。



八高史

校歌の制定

校歌の制定については、誰に作成を依頼するかで種々論議が交わされたが、できれば本校にゆかりの深い卒業生で中央で活躍している著名な作家にお願いしあはと云つことになった。

そこで、中央の作家とも交流の深い国語科の渡辺義夫教諭（昭和26年～43年在職）に人選をお願いすることになり、その結果、旧八代中学に在籍し、作家として中央で活躍しておられる、耕治人氏に作詞を依頼することになった。渡辺教諭らの打診の後、昭和31年11月の修学旅行で上京した松田教頭が、東京都中野区の耕氏の自宅を訪問し、正式な依頼をされたのである。耕氏は、その依頼を快諾され、しばらく遠のいていた八代をもう一度訪れた上で、後世に残せるような歌詞を作りたいと言われたといつ。

一方、作曲の方は、耕氏を通じて当時新進の作曲家として世上に知れつつあつた林光氏に依頼された。こうして本校の校歌は、耕氏と林氏の「ソビ」によつて生まれることとなつたのである。

校旗・校歌の発表

校旗の披露および校歌の発表会は、昭和32年11月20日、文化祭の初日に作詞者の耕氏を招き

盛大に行われた。1200余名の生徒たちの前で演奏された、「道」と題する新しい校歌に対して、万雷の拍手が鳴り止まなかつたといつ。ただ、一部の生徒たちの中には、既存の校歌のイメージとは違うメロディに「贊美歌のようだ」とか「女学校向きだ」などの批評もあった

以上「八高百年史」（平成9年3月1日発行）623ページ以下より抜粋

なお、当時国語科の教師として在職しておられた田口嘉津義教諭（昭和21年～37年在職）が、「白鷺 創立九十周年記念誌」に校歌誕生のいきさつに触れ、「耕治人氏」の思い出と題する文を寄せてくれるので紹介しておく。

新校歌作詞者

「耕治人氏」の思い出

田口嘉津義

（前略）作詞を誰に頼むかといふことが、当然のことながら

「新校歌制作委員会」の最初の話題であった。そのとき、私は

にひつて次のように答へられてゐる。



耕治人さんの名前を挙げた。それまで耕さんの作品を読んでいたし、新潮社の「文芸年鑑」で、この家の、家族を次々と肺結核で失われた。当時肺結核は他人に感染する、いわば業務でわかつたことであるが、耕さんは四年まで八代中学に在学され、それから済々黌に転校されたのであつた。お父さんは、日本セメントの課長で荒神町に住んでおられた。耕さんは、荒神町のこの家で、家族を次々と肺結核で失われた。当時肺結核は他人に感染する、いわば業務である。

頑張ってます!

高女36回卒 守田 満



高女卒、そして結婚…

かつたです。午後はお国のためにと勤労奉仕。

卒業後、市役所に勤務。戦時中だつたため兵事警防課に所属、召集令状を発行したり空襲警報を発動する役目でした。

昭和28年、結婚を機に市役所を辞め、造花で作る開店祝やお葬式の花輪などを作る仕事（立ち仕事）を大量にこなし、自転車に積んでは日奈久や遠い所にも配達。天草からも注文が来ていました。

昭和35年から葬祭業を始め、24時間フル操業。気が休まる暇がありませんでした。

紺屋町（現・本町一丁目）に居た頃、家が全焼したために若い頃の想い出の品や写真はなくなりました。

その頃の想い出は…

さりげなく始まつた世界への道、アスリートデビュー!!

約30年、冠婚葬祭業の経営。

進学の選択肢は「八代成美（現・白百合）」か「八代高女」だけだったので、「高女」が自分に合つてると思い決めました。

昭和12年入学、戦争の時代、午前中は普通に授業がありましたが「英語は敵國後なので憶えなくていい」と言われました。

理数系女子で運動好き、卓球部でした。「成美」の卓球部は強かったです。普通に授業がありましたが「英語は敵國後なので憶えなくていい」と言われました。



▲競技大会でお仲間との1枚。「みっちゃん」と、親しみを込めて呼ばれているそうです。

67才の時に校区民体育祭のリレー種目で、40才代に出る人が現場裏方の仕事を続けて来て、69才の時に引退しました。

居なかつたので走ることになり参加、意外と速いことが周りの人たちにわかり、「マスターズ陸上に参加している方からの誘いもあり、正式に陸上競技を始めました。

※マスターズ陸上：マスターズは、ベテランズとも言われ、その道に秀でた人、概して人生の熟練者（経験者）です。男女共に35歳以上であれば競技成績に関係なく会員になれ、生涯楽しく同年代の人々と競技ができるます。（中略）また、全日本大会に出場できます。アジア・世界大会では（M35以上、W35以上）であれば出場できます。（マスターズ陸上概要より）

マスターズ参加が始まりました。主人は野球の審判をしていましたので、スポーツにとても理解があり、主人の後押しもあって続けてこれました。家族は分つてると思い、主人と一緒にマスターーズ陸上へ良く出かけていました。（また旅行に行つてるくらいに思つていました…家族談）

主人公が亡くなつてからは、マスターーズ関係者が大会へ連れて行くようになり、同時に少しずつ家族の知るところとなつてきました。（母の競技自体に気づくことなく、マスターズのことは文句を言つてあります。

競技大会への準備など…



シーザンオフは次の大会に向かう調整をするために大好きなお酒をやめています。走るためには節制が必要！全てにおいて自身の「負けずぎらい」が原動力。（80才以上の選手は家族の同行が必要で、オーストラリアやフィンランドへ行つて国の走る姿を見ています…家族談）

最後に、ご主人のこと

私が頑張れたのは、理解して良く応援してくれたから。お医者さんから、あと10年と言われたのに25年も一緒に居てくれました。病気が悪化し「すまんない、先に行つてしまふばっくてん…」と言われた時には何も言えなくなりました。最近は仏壇に向つて日々の報告をしますが、「すまんて思うなら行きなんなよ」と文句を言つてあります。

守田さんの世界記録

■80才～84才	200m 40秒78
■85才～89才	100m 19秒83 200m 45秒65
■90才～94才	100m 23秒15 200m 55秒62



◀今年10月25日、トレーニング中の守田さん。腕の振り、太腿の上がり、地面を蹴る力強さなど素晴らしい「走り」を目にすることができました。そんな守田さんですが「最近、女子小学生に抜かるごつなってしました。」と悔しがっておられました。

守田さんの頑張りは「負けすぎらい」の一言につきます。座右の銘は「破られるような記録を作らない！」です。このスーパーな心で次の大台へ…期待。

だより

新ご当地グルメ ハ代ひこいちDON完成



▲お披露目試食会に並んだひこいち丼

「彦一とんち話」をモチーフにハ代産の食材を使つた、うまおもしろい丼「ハ代ひこいちDON」15品が誕生し、2014年2月24日にお披露目試食会がありまし

た。

ご当地グルメ実行委員会が3年をかけ、高校生や一般を対象にしたレシピコンテストやプロによる商品化、販売協力店募集などを進めてきたもので

す。

市内の13店舗が料理やスイーツを提供。ハ代ひこいちDONの「のぼり旗」が目印です。ぜひお召めください。

ハ代港の5.5万トン級岸壁の完成を祝う



▶テープカットを終えた関係者とお祝いにかけつけた園児たち

ハ代外港の5.5万トン級岸壁（水深14m長さ280m）と泊地（31ha）が2013年春に完成。同年の1月28日に「ハ代港国際物流ターミナル供用報告会」が行われ、梶山弘志国土交通副大臣や山縣宣彦国土交通省港湾局長が出席し、完成を祝いました。梶山副大臣は「畜産王国九州を支える飼料基地として、産業競争力の強化に寄与できる」と述べました。

ハ代港は県内一の貿易港で、穀物やウッドチップ、アルミニウムなどの原材料を取り扱い、2012年の貿易額522億円は熊本県の貿易総額の45%を占めています。

高校生フェスティバル大盛況



▲アーケードで踊る高校生たち

2014年3月15日、本田アーケードで第4回高校生フェスティバルAFTER SCHOOLが開かれ、約500人の高校生が参加。美男美女コンテストや書道パフォーマンスなどが繰り広げられました。

フィナーレは、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」ダンス大会A-1ケードの約200mを埋め尽くし、音楽に合わせて全員で踊りを楽しみました。このダンスの模様は、動画コンテンツ共有サイトYouTube（フォートゥーン）で見ることができます（恋するフォートゥーンクッキーハ代本町アーケードVer）。

鏡オイスターhaus オープン



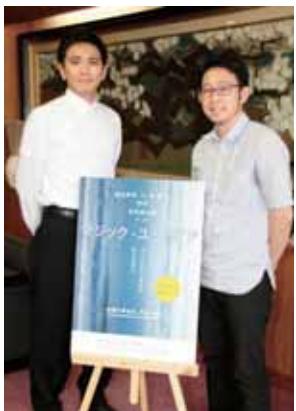
▲シーズン中は連日、大盛況

2014年1月11日、鏡町北新地の堤防沿いにオイスターhaus（カキ小屋）がオープン。鏡町漁業協同組合による取り組みで、沖合のいかだで育ったマガキを始めハマグリやエビ、ザザエ、イカの一夜干しなどを炭火で焼いて食べることができます。カキ小屋は8m×25mのビニールハウスで、4人掛けのテーブルが14席あります。

鏡町は有名な「ワマモトオイスター」発祥の地。エサとなる植物性プランクトンが豊富な海域で育ったカキは、貝柱が太く小粒でもクリーミーな味わいが特徴です。カキは1皿（500g）1000円で焼かずに持ち帰りも可能。シーズンは12月から3月頃までです。

八代

郷里を舞台に映画製作



▶遠山昇司監督（右）と主演の
米村亮太郎さん

八代市鏡町出身で映画監督の遠山昇司さんと横手新町出身で俳優の米村亮太郎さんが、映画「マジック・ユートピア」の製作発表のために、2014年8月22日に里帰りしました。

2015年1月に撮影を開始し、全編の約7割を八代市や阿蘇地方で撮影します。少女、老人、青年3人の主人公のそれぞれの人生があることをきっかけにつながっていくストーリー。同年4月完成の計画で、遠山監督にとっては2作目の長編映画になります。ロカルノ国際映画祭（スイス）などへの出品を予定しており、一般公開は15年の後半以降となります。

前作映画のDVD購入で新作映画製作費をサポートする「クラウドファンディング」を実施中です（URL <http://magic-utopia.com/>）。

八代城跡群 国の史跡に



▲国指定史跡となった八代城跡群の1つ八代城跡

2014年3月18日 古麓城跡、麦

島城跡、八代城跡と平山瓦窯跡が「八代城跡群」として国指定史跡になりました。複数の城跡が一つにまとめて指定されるのは県内で初めてです。

石垣や天守などが多く山の頂上に築かれ戦時にのみ使われた簡素な土造りの中世城郭である「古麓城」、港の近くに築かれ石垣や天守を備えた織田系城郭である「麦島城」、港から少し離れた平野の中心部に造られた近世城郭である「八代城」。中世城郭か半径約3kmの範囲で見ることができます。

この貴重な史跡として評価されました。

めざせ東京五輪 強化選手を指定



▲指定証の交付を受けた強化指定選手

2020年の東京オリンピックなどへ出場する選手を育成しようと、2014年度から「トライアスリート育成事業」が始まりました。市体育協会が事業主体となり、講習会や専門的な体力測定、栄養指導などに取り組みます。

8月28日に陸上の人、水泳5人、卓球2人、バドミントン・野球・ゴルフ・柔道が各1人（小学生3人、中学生10人、高校生7人）の7競技20人の強化指定選手が決まりました。

式の後「トップアスリートのための栄養管理」と題した食事指導会があり、管理栄養士の牧尾光子さんが、持久力や集中力、瞬発力を發揮する栄養フルコースの食事などについて講義しました。

八代神社の本殿解体修復へ



▲2014年5月下旬に行われた解体修理工事見学会

老朽化に伴い、八代神社（妙見宮）本殿の全面改修が行われています。現在の本殿は築後約400年が経過しており、シロアリによる被害や地盤沈下による建物の傾きなどが顕著となっていましたことから、2010年の妙見神渡来1350年祭に向け、2014年4月から解体修復へ。これまで小規模な修復は行われてきましたが、全てを解体して組み立て直す大幅な修理工事は初めてです。県指定重要文化財に指定されていることから、できるだけ現存する部材を活用し、また、部材に記されている内容を調査しながら進められています。

15年10月頃に修復が完了する予定です。

母校だより

中高一貫教育研究推進部長 松田伸也(文責)

輝く八高・八中

創立119年の今年、八代高校・八代中学校はますます元気に日々の教育活動に励んでいます。少子化の影響で生徒総数は減少しましたが、中一から高二までの計973名の鳳雛たちが、毎日学習・部活動・学校行事に力を注いでいます。



朝の風景



授業(化学)の様子

朝登校すると、ボランティア部で清掃活動を行うサッカー部の元気のよい姿が迎えてくれます。多くの先生方が昇降口前に立つて、気持ちのよい挨拶を動しています。



九州大会出場の弓道女子団体チーム

行っています。田中は授業に集中。質問や添削指導を受ける生徒が積極的に先生と語り合っている姿が見られます。放課後は部活動に全力を注ぎます。全校生徒の大部分が部活動に入つており、夕方遅くまで元気よく活動しています。



マスゲームのフィナーレの様子

また、八代中学校では、柔道部女子個人において、熊本県大会で見事優勝し、八代中学校開校後初の全国大会出場を果たしました。

今年は9月7日に体育の部が文化部では、放送部・書道部が全国大会に出品し、文芸部の部誌「白鷺」は、九州大会に出品されました。また、中高合同で出場した合唱部も10年ぶりに九州大会に進出するなど、顕著な成績を収めています。

9月13日に文化の部が盛大に行われ、9月上旬は学校全体が鳳雛祭一色に染まりました。体育の部では、中一から高二までの部では、中一から高二までのすべての生徒が参加する「マスゲーム」が実施され、その迫力ある集団美に多くの観覧の方々からお褒めの言葉を頂戴しました。

長い時間をかけて何枚ものベニヤ板に鮮やかな絵を描くシンボルなど八高生・八中生が書きに負けず全力で取り組む姿には毎年感動を覚えます。



鳳雛祭(文化の部)での書道部パフォーマンス

文化の部は、各部・各クラスのステージ発表や教室展示、また食品バザーなど、盛りだくさんの内容で、幼児からお年寄りまでたくさんのお客様に喜んでいただきました。

今年も同窓生の皆様に、八高生・八中生の活き活きとした今姿をお知らせすることができます。嬉しく思っております。今後とも、後輩たちの活躍にどうぞ期待ください。

今年の高校総体では、陸上競技部・水泳部・弓道部などが上位入賞を果たし、九州大会に出場しました。

青春爆発～鳳雛祭～

学校全体が最も盛り上がり、若さを爆発させるのが、学校最大のイベント「鳳雛祭」です。

今年は9月7日に体育の部が、

今年は9月7日に体育の部が、

長い時間かけて何枚ものベニヤ板に鮮やかな絵を描くシンボルなど八高生・八中生が書きに負けず全力で取り組む姿には毎年感動を覚えます。

平成25年度 八代高校同窓会会計決算書

(1) 収入の部				(単位:円)
費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	摘要
繰越金	24,032,089	24,032,089	0	平成24年度より繰り越し
年会費	5,000,000	5,150,000	△150,000	2,417人分(内訳下表)
入会費	1,245,000	1,245,000	0	5,000×249名分(うち中学80名)
雑収入	122,911	197,913	△75,002	名簿代、寄付、預金利息
合計	30,400,000	30,625,002	△225,002	

(2) 支出の部				
費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	摘要
会議費	400,000	44,130	355,870	同窓会座談会会場費、会議諸経費
印刷費	200,000	98,400	101,600	総会案内状
役務費	800,000	454,688	345,312	郵便・電話・広告・年会費振込手数料、HP管理費
広報費	4,000,000	3,523,804	476,196	会報発行費
備品消耗品費	200,000	43,560	156,440	用紙代、プリンターインク代
慶弔費	250,000	154,289	95,711	香典・電報代・教職員記念品代
人件費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	300,000	198,479	101,521	卒業証書入れ丸筒代・校歌CD代
旅費	700,000	676,035	23,965	支部地区同窓会出席旅費
雑費	500,000	227,584	272,416	花馬補助等
積立金	1,000,000	1,000,000	0	120周年事業費(特別会計へ)
予備費	21,250,000	0	21,250,000	
合計	30,400,000	7,220,969	23,179,031	

(3) 収支決算の部

収入決算額	支出決算額	残高	摘要
30,625,002	7,220,969	23,404,033	平成26年度へ繰り越し

(4) 金銭管理状況

普通預金 九州労働金庫	1,596,682	年会費振込金額	人 数	総 金 額
普通預金 肥後銀行	4,612,343	2,000円	2358人	4,716,000円
振替口座 ゆうちょ銀行	304,480	4,000円以上	59人	434,000円
定期預金 九州労働金庫3口	13,043,464			
定期預金 熊本県信用組合	3,847,064			
計	23,404,033			

平成26年度 八代高校同窓会会計予算書

(1) 収入の部				(単位:円)
費目	前年度予算額(A)	本年度予算額(B)	差異(A-B)	摘要
繰越金	24,032,089	23,404,033	628,056	平成25年度より繰り越し
年会費	5,000,000	5,000,000	0	2,000円×2,500人
入会費	1,245,000	1,245,000	0	5,000×249名分(うち中学80名)
雑収入	122,911	150,967	△28,056	名簿代、寄付、預金利息
合計	30,400,000	29,800,000	600,000	

(2) 支出の部

費目	前年度予算額(A)	本年度予算額(B)	差異(A-B)	摘要
会議費	400,000	400,000	0	会議諸経費
印刷費	200,000	200,000	0	総会案内状
役務費	800,000	800,000	0	郵便・電話・広告・年会費振込手数料、HP管理費
広報費	4,000,000	4,000,000	0	会報発行費
備品消耗品費	200,000	200,000	0	用紙代、プリンターインク代
慶弔費	250,000	250,000	0	香典・電報代・教職員記念品代
人件費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	300,000	300,000	0	卒業証書入れ丸筒代・校歌CD代
旅費	700,000	800,000	△100,000	支部地区同窓会旅費
雑費	500,000	500,000	0	花馬補助等
地区補助費	0	200,000	△200,000	支部・地区通信費への補助
積立金	1,000,000	1,000,000	0	120周年事業費(特別会計へ)
予備費	21,250,000	20,350,000	900,000	
合計	30,400,000	29,800,000	600,000	

◆各支部・地区同窓会連絡先のご案内

■八代高校関東地区同窓会

会長:守屋 充男(高10回) 事務局長:中村 静雄(高19回)
事務局所在地 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目6番10号K・Kビル5階
中村会事務所 TEL 03-3864-6951 FAX 03-3864-6957
定例総会:毎年9月の土曜日、東京都内の会場で開催

■八高関西同窓会

会長:宮崎 正郎(高14回) 事務局長:木邑公一郎(高23回)
事務局所在地 〒603-8265 京都市北区鷹峯土天町31-1 木邑公一郎(高23回)方
TEL 075-494-3711, 090-3670-7602 FAX 075-494-3715
定例総会:毎年6月の第1土曜日、大阪市内の会場で開催

■八代高校岡山同窓会

会長:森田 敦史(高14回)
事務局所在地 〒703-8264 岡山市中区倉富7-7 吉田 高範(高18回)方
TEL 086-276-3979 FAX 086-276-3979

■八代高校広島県同窓会

会長:谷崎 繩(高13回) 事務局長:村田 栄治(高28回)
事務局所在地 〒738-0036 廿日市市四季が丘4-6-14 村田 栄治(高28回)方
TEL 0829-58-5455

■八代高校山口県同窓会

会長:山下 鐵洋(高14回)
事務局所在地 〒755-0092 宇部市上野中町4-3 重田千恵子(高18回)方
TEL 090-7122-6159

■八代高校同窓会福岡支部

会長:佐藤 好助(高13回) 事務局長:磯部 和之(高23回)
事務局所在地 〒811-1346 福岡市南区老司2-23-80 磯部 和之(高23回)方
TEL 092-565-2232
定例総会:毎年、7月第1土曜日、博多祇園山笠にあわせて実施、福岡市内の会場で開催

■八代高校同窓会熊本県支部

会長:益田敬二郎(高15回) 事務局長:坂田 雅孝(高24回)
事務局所在地 〒861-4172 熊本市南区御幸笛田4-11-5 坂田 雅孝(高24回)方
TEL 096-379-0852
定例総会:隔年10月の土曜日、熊本市内の会場で開催

■八代高校大分同窓会

会長:田河 清一(高13回) 事務局長:松本 宏次(高15回)
事務局所在地 〒870-0848 大分市賀来北1丁目2-40 松本 宏次(高15回)方
TEL 097-549-3386

個人情報の取り扱いと保護について

(八代高等学校同窓会個人情報保護基本方針)

1. 八代高等学校同窓会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学校名、勤務先電話番号、最終学年等の情報を指します。
また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報も含みます。

2. 個人情報をご提供いただく場合について

八代高等学校同窓会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。
(1) 同窓会事務局から同窓会会員へ直接依頼する場合
(2) 同窓生や家族から同窓会事務局に間接的にご連絡いただく場合
(3) 同窓会会員から同窓会事務局に直接ご連絡いただく場合

3. 個人情報の管理について

八代高等学校同窓会では、個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供
(「第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます)などの無いよう
に適切な管理を実施いたします。

4. 個人情報の利用目的について

ご提供いただいた情報は秘密扱いとし、同窓会会員の管理、および同窓会会員名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

5. 第三者への情報提供について

八代高等学校同窓会では、ご本人の同意を得た場合以外は、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。
ただし、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続きにおいて照会を受けた等法令に基づく場合や、会員の行為によって同窓会会則等に反し同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、および人の生命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

6. 個人情報管理責任者の配置について

個人情報を取り扱う責任者を置き、適切な管理を行います。

7. 法令等の遵守・個人情報保護方針の改定

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせるため、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただくことがございますので、定期的に個人情報保護方針のご確認をしていただけますようお願いいたします。

平成24年8月25日
熊本県立八代高等学校同窓会

なお、可能な限り、適切かつ迅速な処理を努めますので、個人情報に関する開示の申し出、苦情、相談等は事務局までご連絡ください。

八代高等学校同窓会事務局 (八代高等学校内)

TEL0965-33-4138 FAX0965-35-8463

連絡用メールアドレス 85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

委 員 古閑 雄一郎（高22回卒）

八高座談会の記録係として、毎回同席させていただいています。

いつも思う事ですが、開始直後は皆さん控え目に話しておられます。次第に興が乗ってきて声も大きく、表情も明るくなっています。在校時の話をしているうちに、皆さん本当に若返ってくるんです。不思議です。ファインダーを覗きながら、いつも楽しませていただけております。

委 員 岡村 洋文（高25回卒）

いっぱいいっぱいな感じの編集作業終了！次はお正月の“還暦同窓会”準備作業開始。この場をお借りして……

昭和48年卒（高25回）還暦同窓会のご案内

- 平成27年1月2日(金) 17:00～
- セレクトロイヤル八代（旧八代ロイヤルホテル）

 hatikou825@yahoo.co.jp

委 員 一 親房（高28回卒）

仕事柄、台風の進路に十分注意しています。今年は特別警報が出た台風8号、18号、それに日本列島を縦断し、スーパー台風と呼ばれた19号が、全国各地に多大な被害をもたらしました。幸いにも八代では被害はありませんでした。異常気象と呼ばれる今日、台風や大雨などの気象情報から目を離せませんね。同窓生の平井君、頑張って！！

委 員 江崎 博美（高36回卒）

初参加です。しかも大先輩方の集まられる八高座談会の司会という大役を命ぜられ真っ青でした（汗）。しかし皆さんの母校への熱い思いに触れることができた貴重な体験であり、大変勉強になりました！

関係者の皆様、ありがとうございました。

委 員 成尾 善明（高49回卒）

今号でも、「八高史」コーナーを担当させて頂きました。平成9年発行「八高百年史」より、毎回少しづつ抜粋するなどして、紹介しています。また、今回は「頑張ってます！」コーナーでの守田満先輩への取材にも同行させて頂き、貴重な経験となりました。

委 員 柴崎 政俊（高52回卒）

今回初めて広報委員の仕事をさせて頂きました。私の担当は、「頑張ってます！」コーナーで、マスターズ陸上で活躍されている守田満さんへのアポイントとインタビューでした。守田さんが忙しく、原稿締切が過ぎても予定が合わず、最終校正にぎりぎり間に合いました。色々と勉強になりました。



「平成27年度八代中学・八代高女・八代高校同窓会総会」

平成27年8月22日(土)

午後12時30分受付開始

総 会 13時30分から
懇親会 17時から
会 場 八代ホワイトパレス

来年度の大同窓会は、高33回生が担当します。
多くの皆さんの御参加をお待ちいたしております。

【住所変更時の連絡のお願い】

事務局では会報発行の際、住所不明で返送される分を減らしたいと考えています。

住所を変更されましたら、事務局までご連絡下さい。

連絡先

〒866-0885 熊本県八代市永碇町856
熊本県立八代高等学校同窓会
TEL 0965-33-4138 FAX 0965-35-8463

メールアドレス

85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

ホームページアドレス

<http://www.hachiko-dosokai.com/index.htm>

平成26年度同窓会行事予定 (H26.4.1 ~ H27.3.31)

平成26年(2014)

- 4月24日(木) 第1回広報委員会（同窓会報、ホームページについて）
- 5月9日(金) 第1回正副会長会（26年度行事・事業について）
- 6月6日(金) 第2回正副会長会（理事会議案について）
- 6月7日(土) 関西同窓会総会「太閤園」にて
- 6月8日(日) 岡山同窓会総会「みよしの」駅前店にて
- 6月14日(土) 会計監査
- 6月28日(土) 八代高校教育振興基金運営委員会
理事会 総会議案審議（予算案を含む）
- 7月5日(土) 福岡支部総会「八仙閣」にて
- 8月8日(金) 第3回正副会長会（同窓会総会運営について）
- 8月23日(土) 同窓会総会（八代ホワイトパレス 高32回担当）
- 8月30日(土) 広島県同窓会総会（ホテルセンチュリー21広島にて）
- 9月13日(土) 関東地区同窓会総会（新宿京王プラザホテルにて）
- 10月3日(金) 第4回正副会長会（同窓会報について）
- 10月19日(日) 山口県同窓会総会（山口グランドホテルにて）
- 10月25日(土) 熊本市支部同窓会総会（ニュースカイホテルにて）
- 11月10日(月) 同窓会報「道」第6号発行
- 11月23日(日) 妙見宮大祭 花馬奉納
- 12月5日(金) 第5回正副会長会

平成27年(2015)

- 2月13日(金) 第6回正副会長会（同窓会入会式について）
- 2月28日(土) 同窓会入会式 平成26年度卒業生(高67回)